

半田市
高齢者福祉・介護に関する
アンケート
調査結果報告書
【概要版】

令和5年3月
半田市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
3	報告書の表記及び注意点について	1
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
	回答者の基本属性	2
	(1) 調査票記入者	2
	(2) 性別	2
	(3) 年齢	2
	(4) 居住地域	2
1	あなたのご家族や生活状況について	3
	(1) 家族構成	3
	(2) 現在の暮らしの状況	3
2	からだを動かすことについて	4
	(1) 外出を控えているか	4
	(2) 外出を控える理由	4
3	食べることにについて	5
	(1) 食事について	5
4	毎日の生活について	6
	(1) 趣味について	6
	(2) 生きがいについて	6
5	地域での活動について	8
	(1) グループ活動等の参加頻度	8
	(2) 社会参加について	9
	(3) 施設の利用状況について	10
6	たすけあいについて	11
	(1) 家族や友人・知人以外の相談相手	11
	(2) 地域の方との生活の支援について	11
7	健康について	13
	(1) 健康状態について	13
	(2) 飲酒について	14
	(3) 喫煙について	14
	(4) 治療中、または後遺症のある病気	15
	(7) 行政や民間による必要なサービスの提供について	16
8	認知症について	17
	(1) 相談窓口の把握について	17
	(2) 認知症の人の自宅での生活や地域活動について	19
	(3) 今後の認知症施策について	21
9	かかりつけ医や人生最期に望む医療・ケアについて	22
	(1) かかりつけ医について	22
	(2) 最期に望む医療・ケアについて	23

10	リスク分析	24
(1)	運動器の機能低下について	26
(2)	転倒リスクについて	26
(3)	閉じこもり傾向について	26
(4)	口腔機能の低下について	27
(5)	BMI	27
(6)	低栄養状態について	27
(7)	認知機能の低下について	28
(8)	うつ傾向について	28
(9)	IADL（手段的日常生活動作）の低下について.....	28
11	リスク状況（リスク高齢者の割合）	29
①	市全体	29
②	亀崎地区	29
③	乙川地区	30
④	半田地区	30
⑤	成岩地区	31
⑥	青山地区	31

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする「半田市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定するための基礎資料として、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の日常生活および社会生活の実態並びに介護・福祉サービス等に対する意向について把握するために実施しました。

2 調査の概要

	介護予防・日常生活 圏域二一ズ調査
調査地域	半田市全域
対象	半田市在住の 要介護認定を受けていない65歳以上で 在宅生活している人
配布数	3,600件
抽出方法	無作為抽出
調査期間	令和4年11月27日～12月16日
調査方法	郵送による配布・回収
回収数	2,146件
有効回収数	2,141件
回収率	59.4%

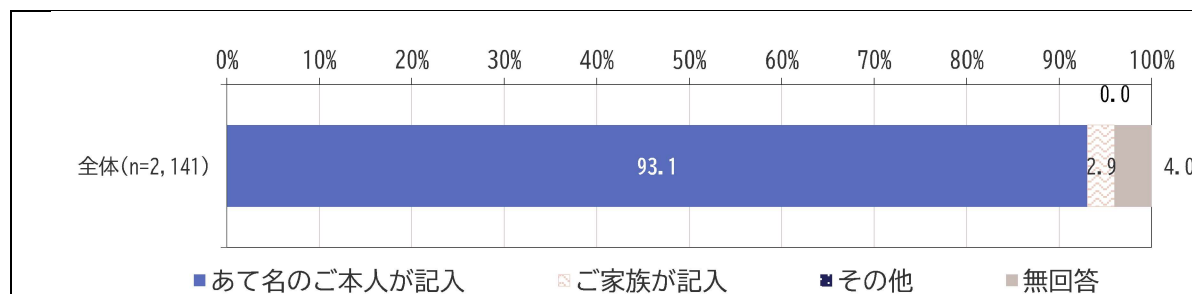
3 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答となっている回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表示しています。

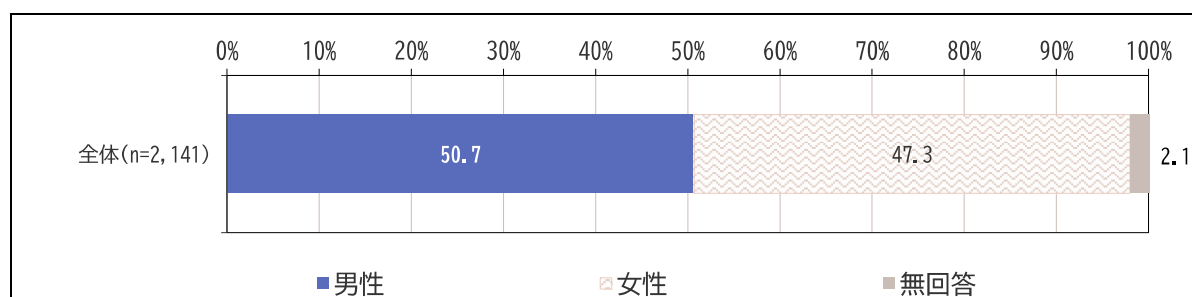
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者の基本属性

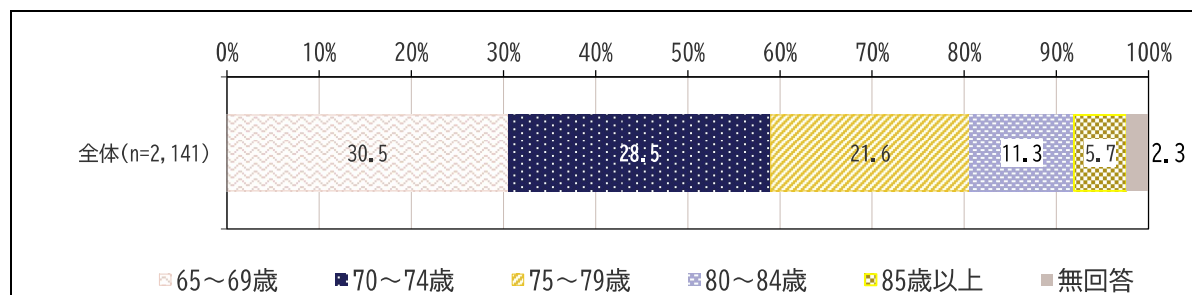
(1) 調査票記入者



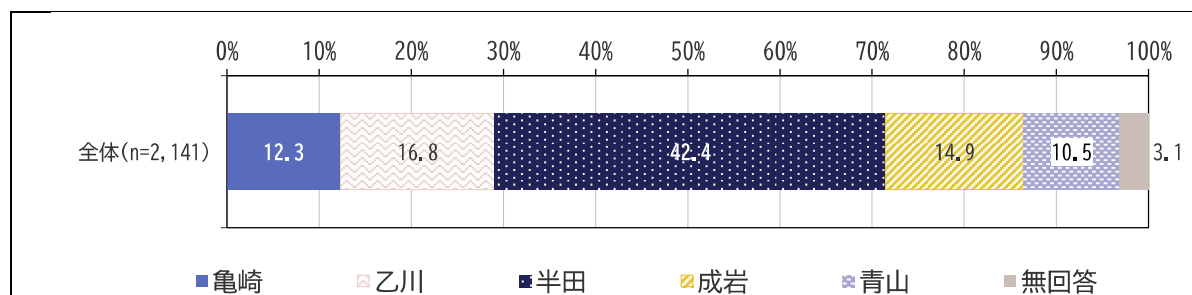
(2) 性別



(3) 年齢

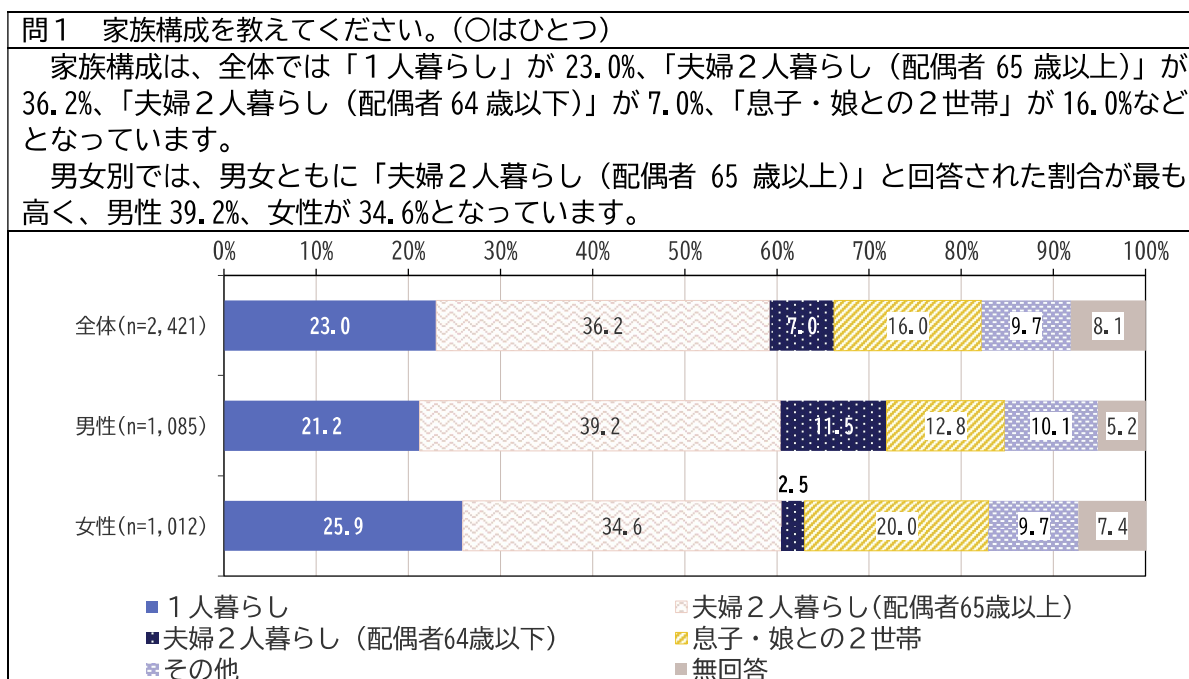


(4) 居住地域

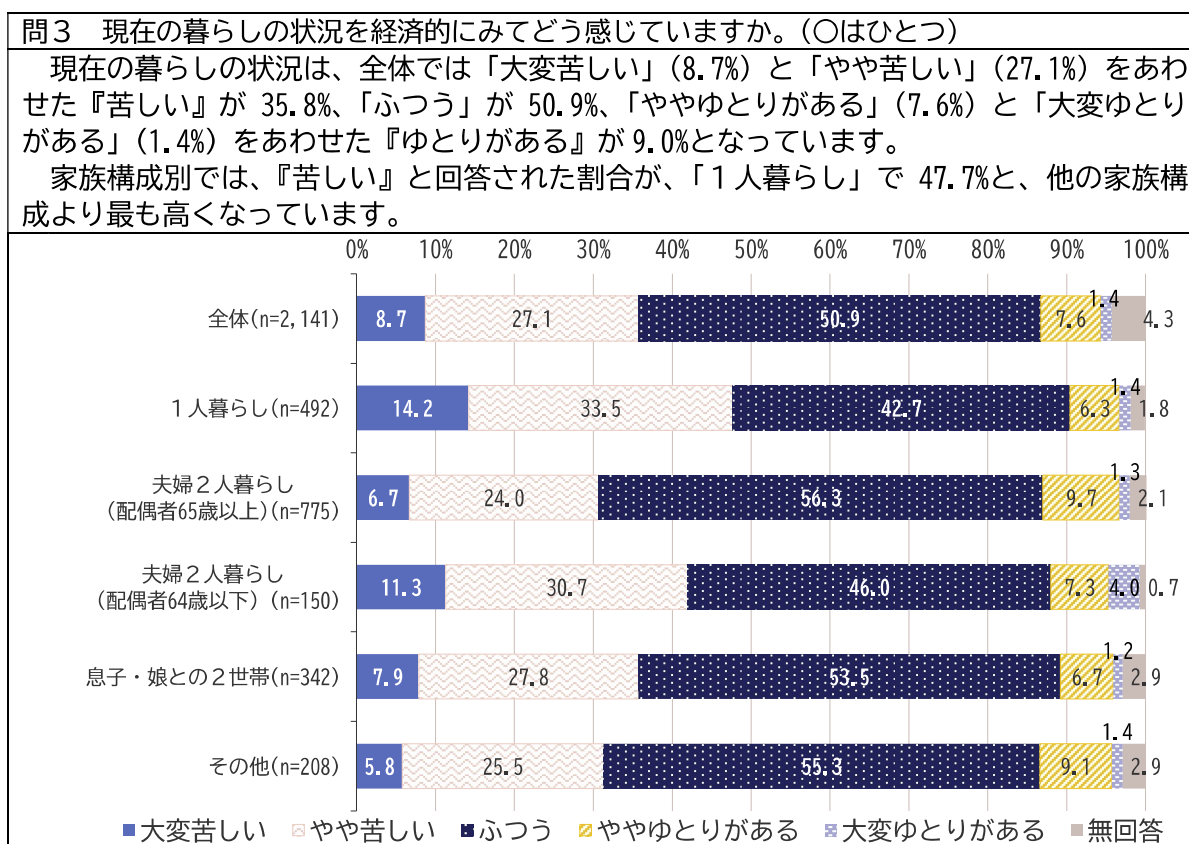


1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

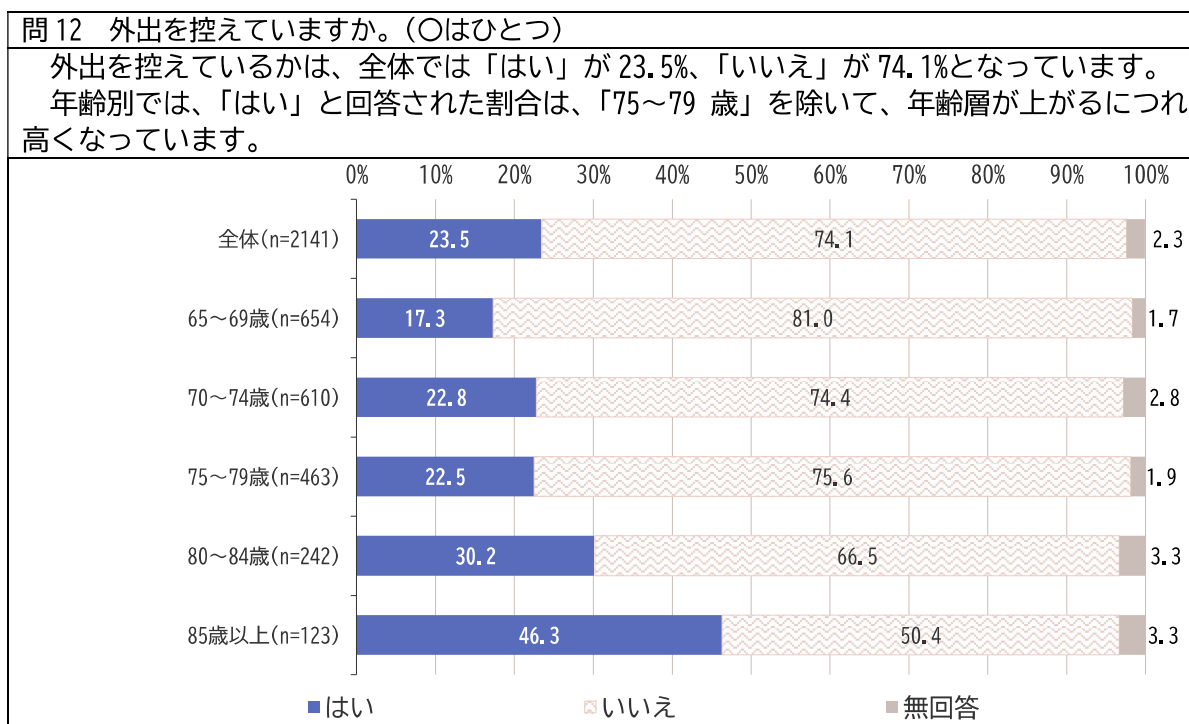


(2) 現在の暮らしの状況

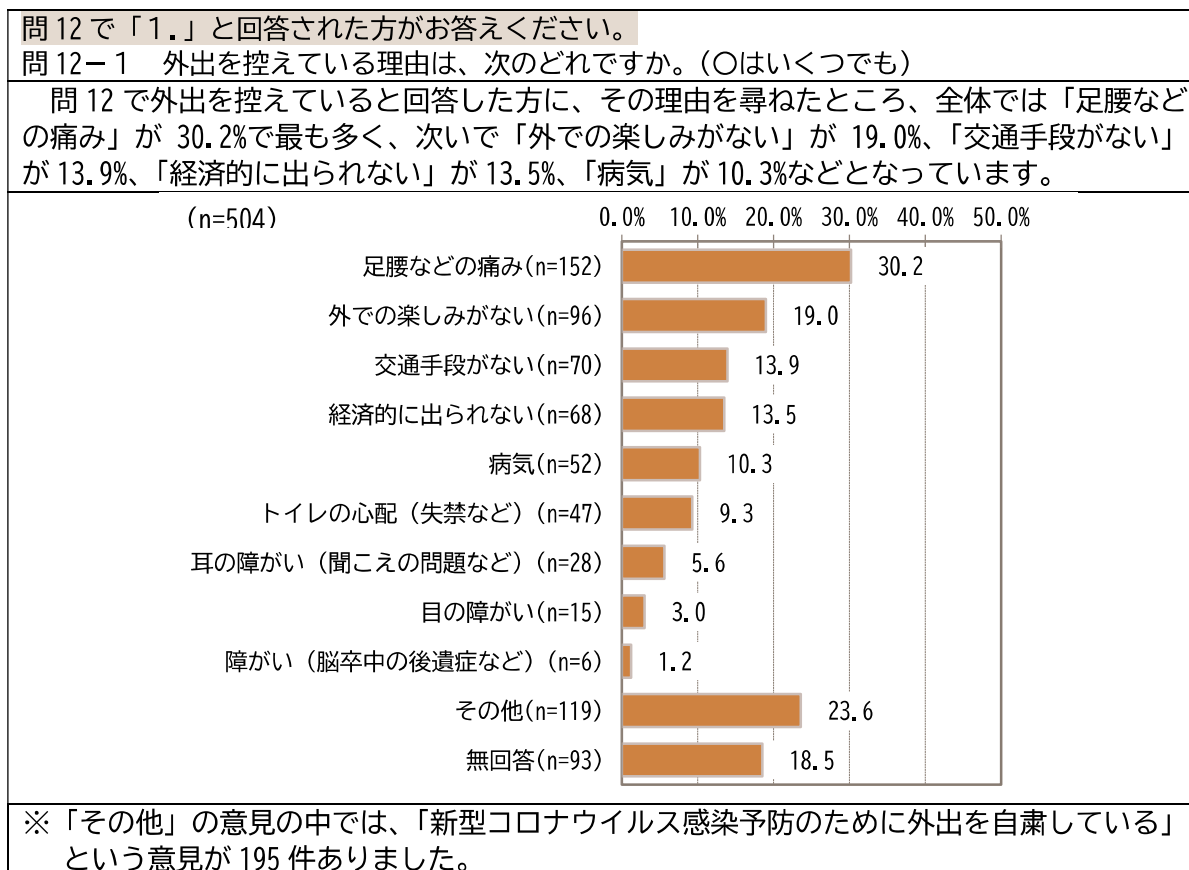


2 からだを動かすことについて

(1) 外出を控えているか



(2) 外出を控える理由



3 食べることについて

(1) 食事について

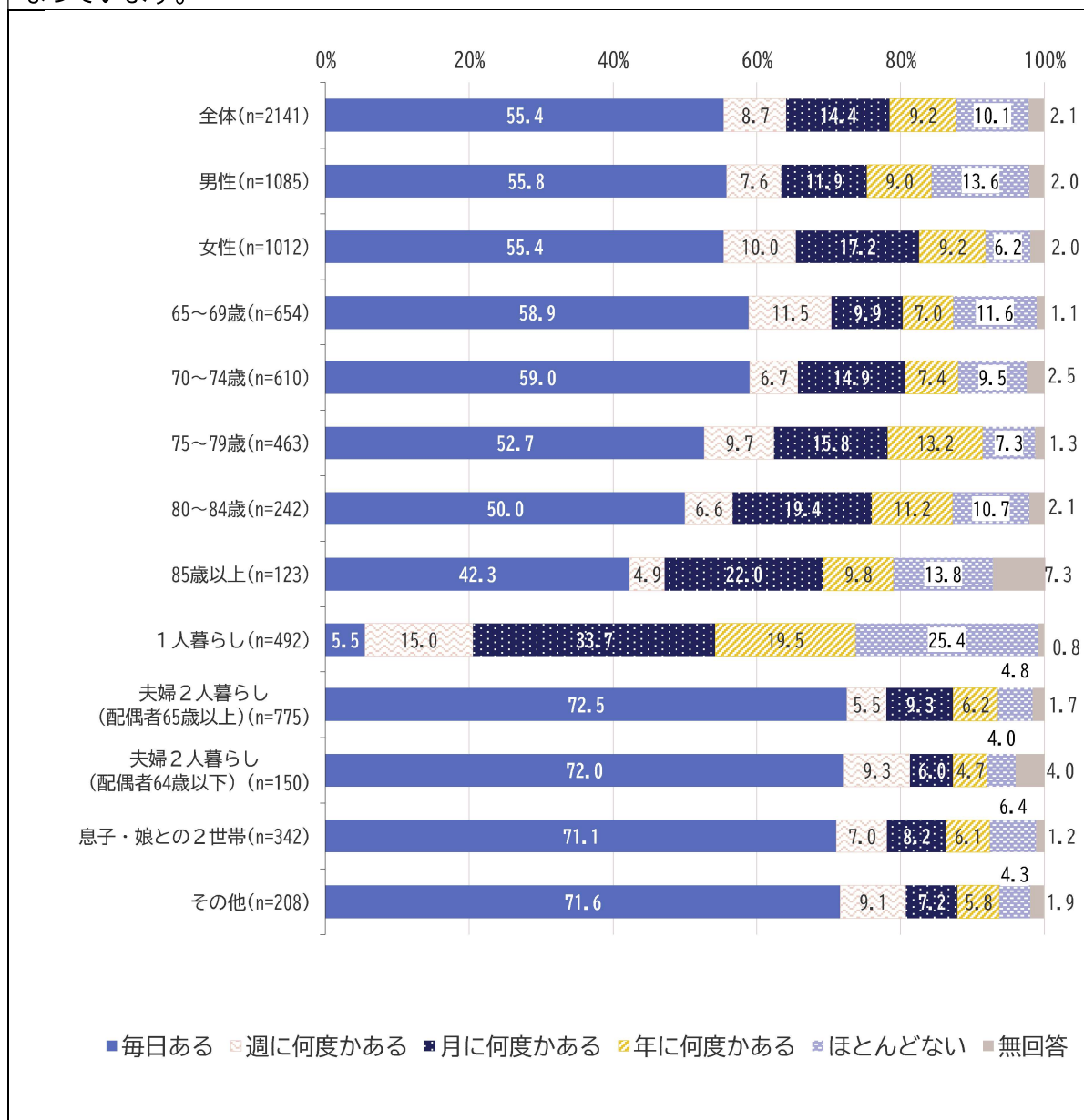
問 22 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○はひとつ)

誰かと食事をともにする機会があるかは、全体では「毎日ある」が 55.4%、「週に何度かある」が 8.7%、「月に何度かある」が 14.4%、「年に何度かある」が 9.2%、「ほとんどない」が 10.1%となっています。

男女別では、「ほとんどない」と回答された割合は、男性が 13.6%、女性が 6.2%と、男性が女性を 7.4 ポイント上回っています。

年齢別では、年齢層が上がるにつれ「毎日ある」と回答された割合は低くなっています。

家族構成別では、「1 人暮らし」で「ほとんどない」と回答された割合が 25.4%と最も高くなっています。



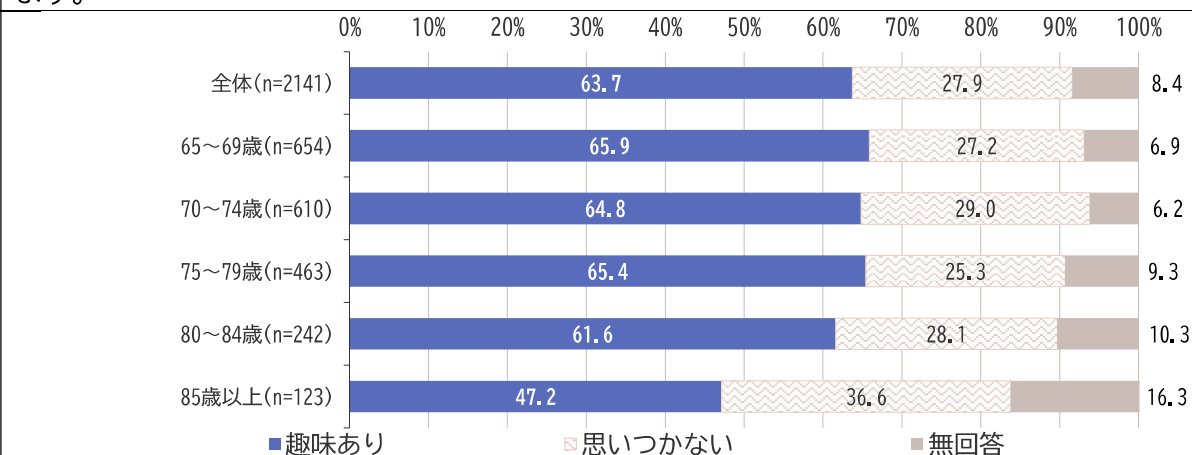
4 毎日の生活について

(1) 趣味について

問 39 趣味はありますか。(○はひとつ)

趣味について、全体では「趣味あり」が 63.7%、「思いつかない」が 27.9%となっています。

年齢別では、「趣味あり」と回答された割合は、「85 歳以上」で 47.2%と最も低くなっています。



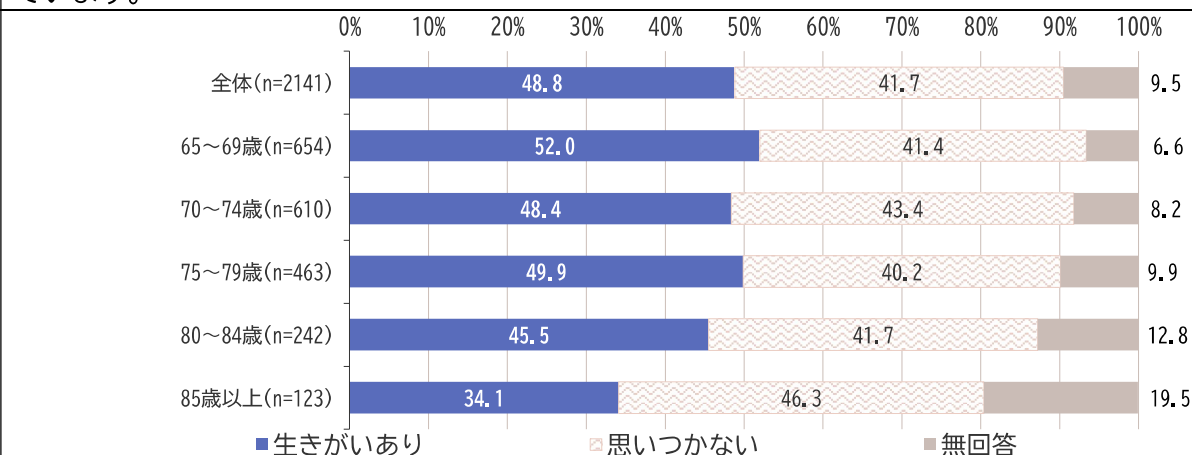
具体的な内容：ウォーキング、ゴルフ・グランドゴルフ、水泳等運動、ガーデニング、音楽鑑賞・美術鑑賞、読書、友人との食事、動植物観察、囲碁、映画鑑賞、楽器演奏、スポーツ観戦、旅行、パソコン、キャンプ、畑、裁縫、カラオケ、ジム、音楽鑑賞・美術鑑賞、ギャンブル、クイズ、釣り、DIY、盆栽、手芸

(2) 生きがいについて

問 40 生きがいはありますか。(○はひとつ)

生きがいについて、全体では「生きがいあり」が 48.8%、「思いつかない」が 41.7%となっています。

年齢別では、「生きがいあり」と回答された割合は、「85 歳以上」で 34.1%と最も低くなっています。



具体的な内容：長生きすること、孫の成長、趣味活動、家族との団らん、友人と話すこと、ウォーキング、畑仕事、仕事、買い物、ペットの世話、健康に暮らすこと、旅行、食事・料理、音楽・動画鑑賞、スポーツ（観戦も含む）、ギャンブル、トレーニング、ゴルフ、ガーデニング、勉強、楽器演奏、ボランティア活動、信仰

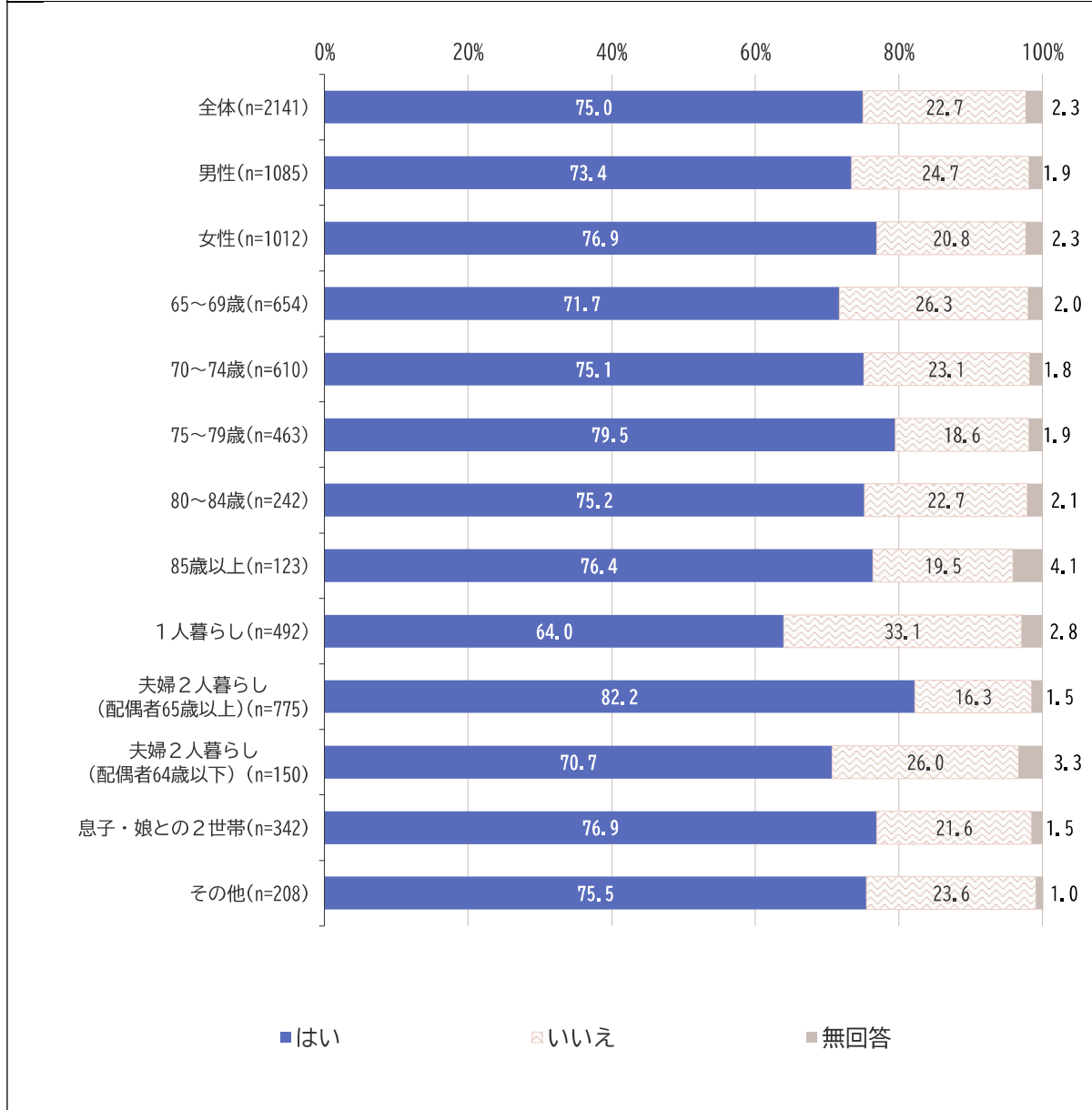
問 41 今の生活に満足していますか。(〇はひとつ)

今の生活に満足しているかについて、全体では「はい」が 75.0%、「いいえ」が 22.7%となっています。

男女別では、大きな差はみられません。

年齢別では、「はい」と回答された割合は、すべての年齢層で7割を超えています。

家族構成別では、「はい」と回答された割合は、「1人暮らし」で 64.0%と最も低くなっています。



【第8期計画成果指標】

●今の生活に満足している高齢者の割合

令和元年度調査結果	目標値	令和4年度調査結果
81.3%	85.0%	75.0%

5 地域での活動について

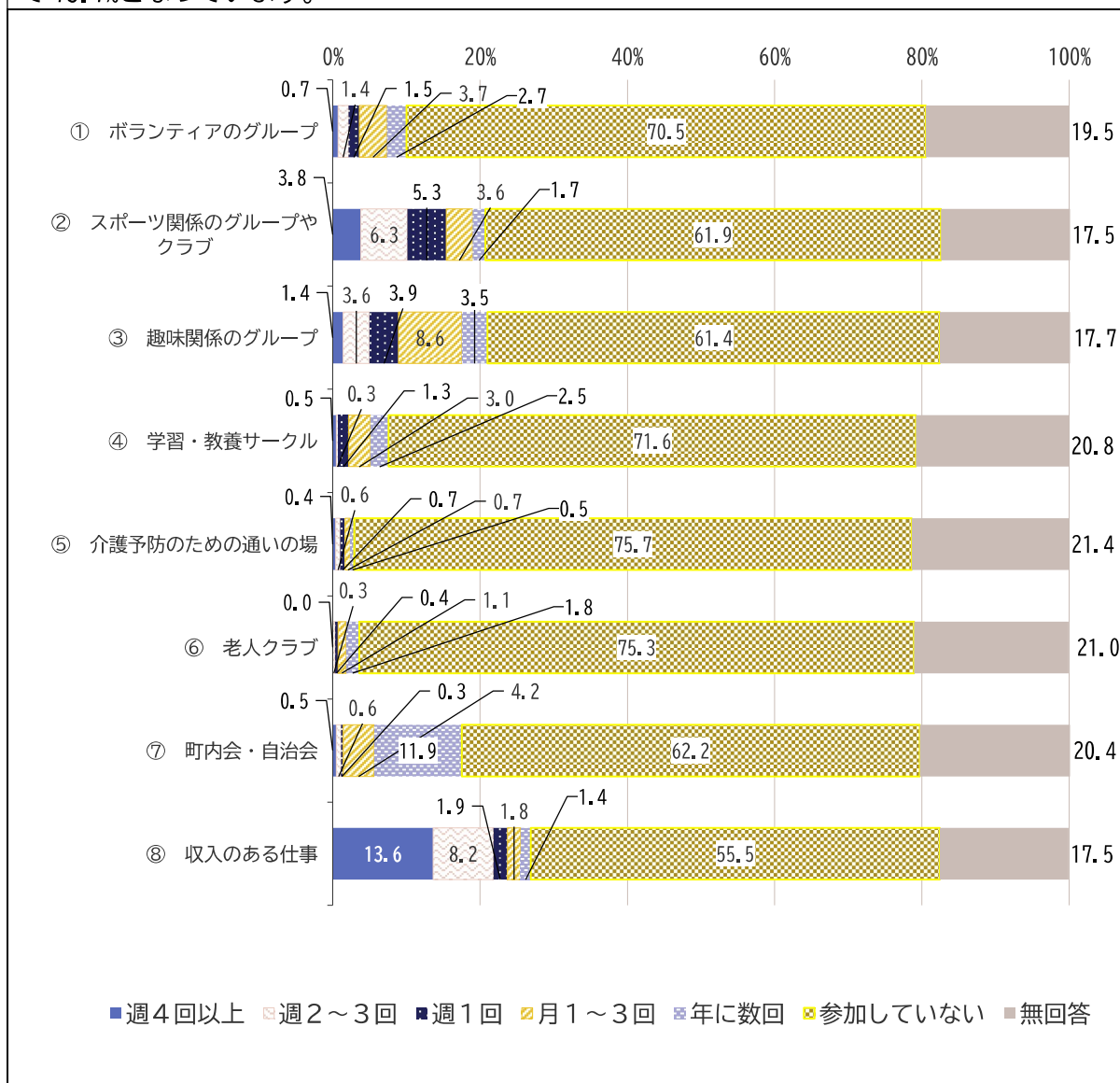
(1) グループ活動等の参加頻度

問 42 以下のようなグループ・会等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれに○はひとつ)

グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかについて、「収入のある仕事」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、約 27%が参加しています。

また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「介護予防のための通いの場」で 75.7%となっています。

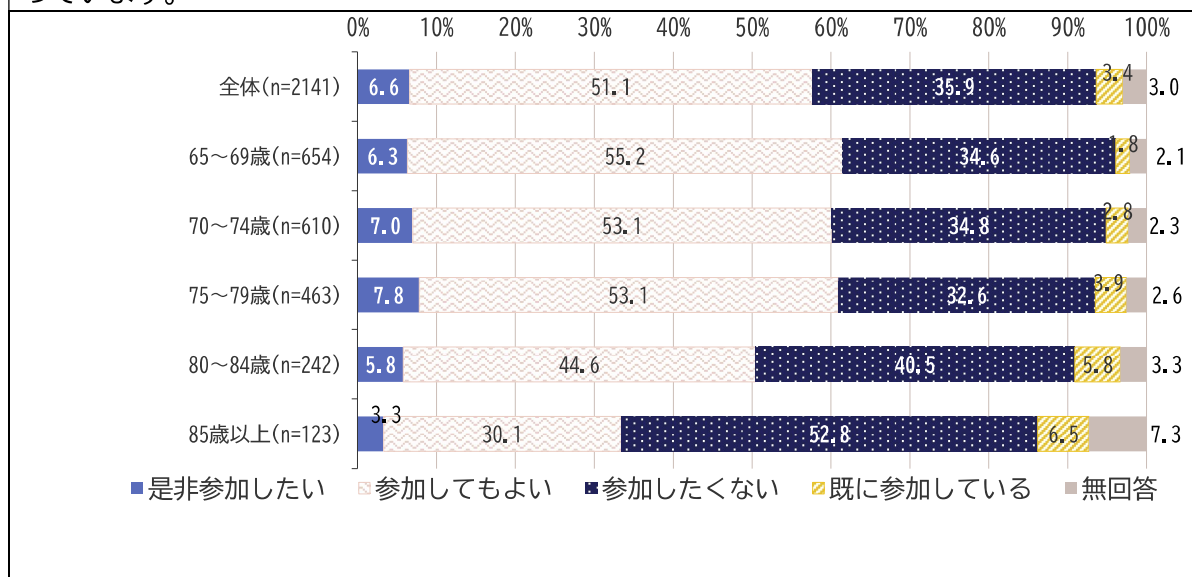


(2) 社会参加について

問 43 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

地域づくりの活動に参加者として参加してみたいと思うかは、全体では「是非参加したい」が 6.6%、「参加してもよい」が 51.1%、「参加したくない」が 35.9%、「すでに参加している」が 3.4%となっています。

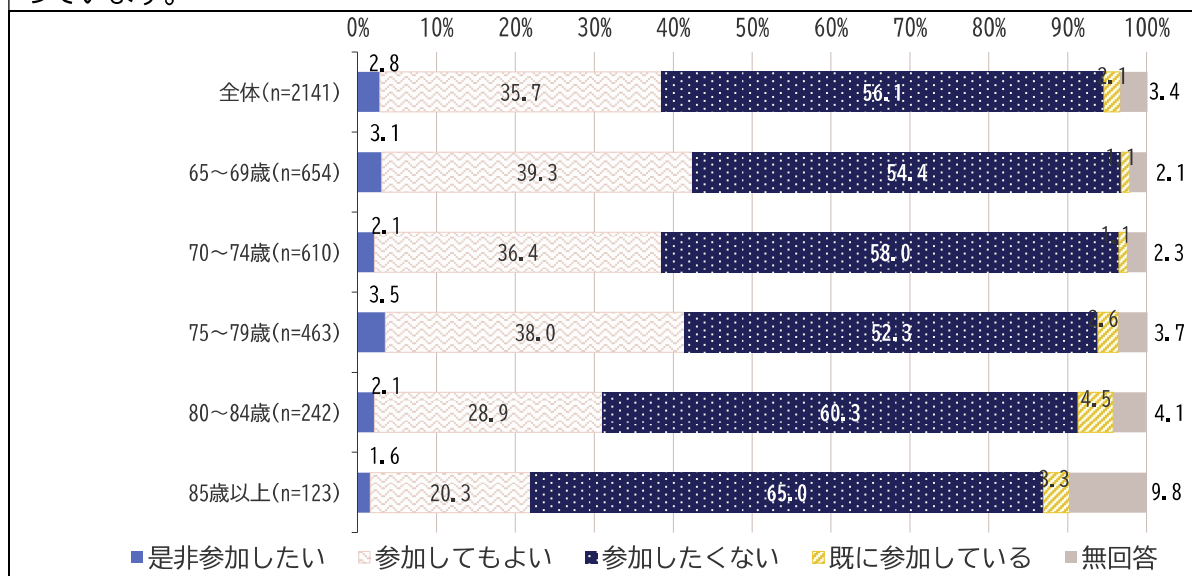
年齢別では、「参加したくない」と回答された割合は、「85 歳以上」で 52.8%と最も高くなっています。



問 44 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

地域づくりの活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかは、全体では「是非参加したい」が 2.8%、「参加してもよい」が 35.7%、「参加したくない」が 56.1%、「すでに参加している」が 2.1%となっています。

年齢別では、「参加したくない」と回答された割合は、「85 歳以上」で 65.0%と最も高くなっています。

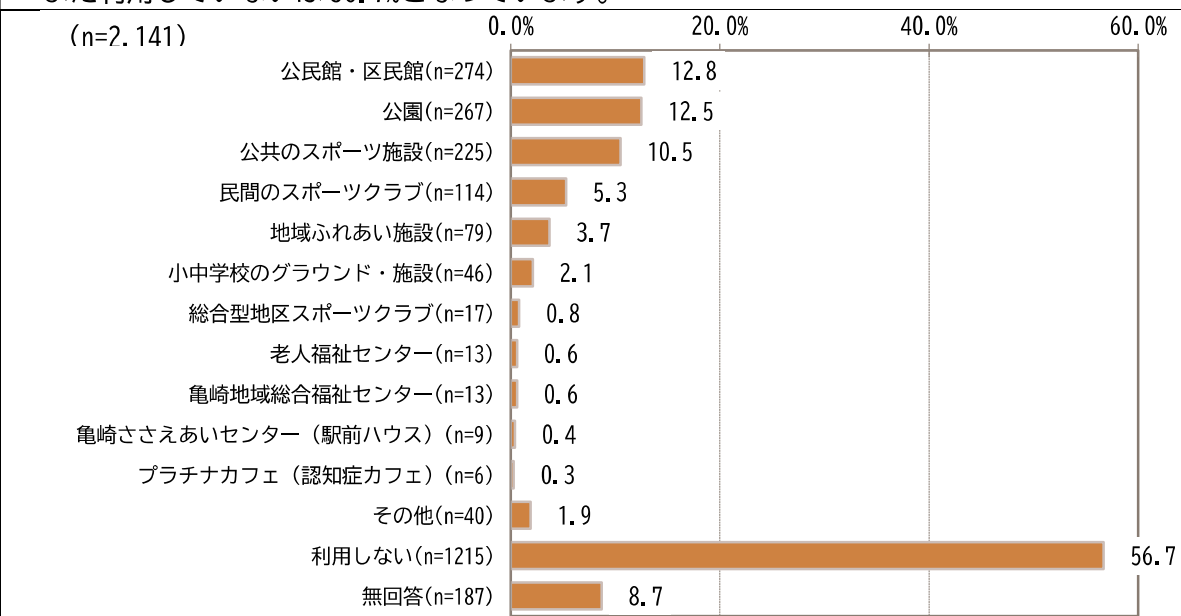


(3) 施設の利用状況について

問 45 あなたは、健康づくりやスポーツ、趣味活動、ボランティア、サロンや集いの場に参加するため、次の施設を利用していますか。(〇はいくつでも)

利用している施設は、全体では「公民館・区民館」が 12.8%で最も多く、次いで「公園」が 12.5%、「公共のスポーツ施設（運動公園、体育館、ふれあいプール、青山記念武道館等）」が 10.5%などとなっています。

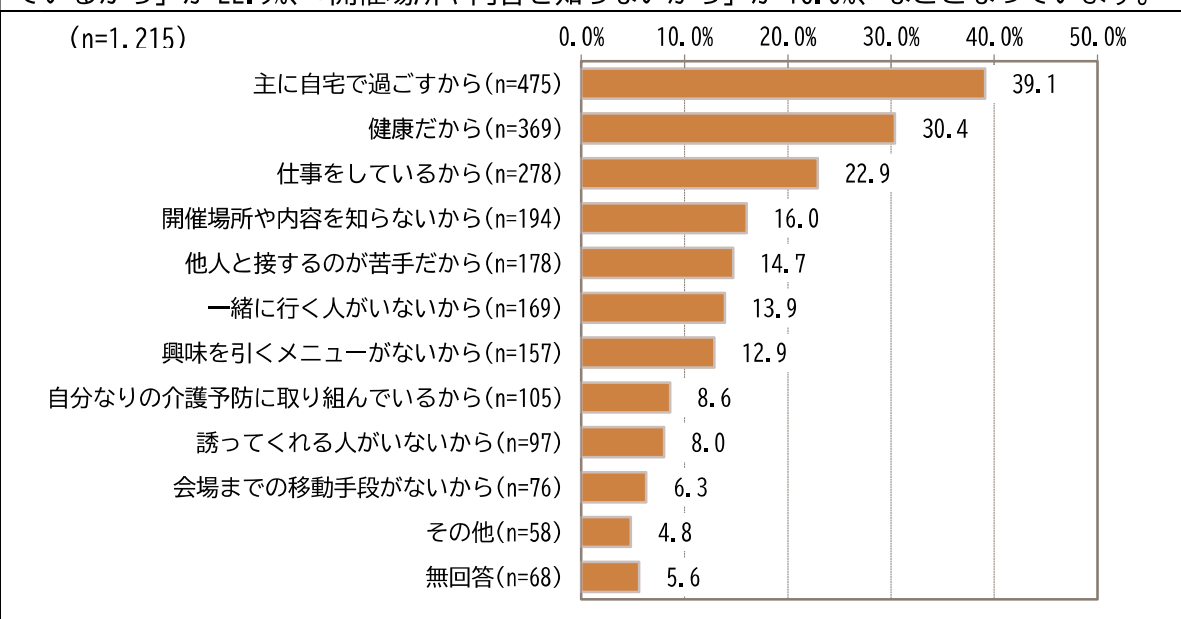
また利用していないは 56.7%となっています。



問 45 で「13. 利用しない」と回答された方がお答えください。

問 45-1 施設を利用しない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

問 45 で「13. 利用しない」と回答した方に利用しない理由について尋ねると、全体では「主に自宅で過ごすから」が 39.1%で最も多く、次いで「健康だから」が 30.4%、「仕事をしているから」が 22.9%、「開催場所や内容を知らないから」が 16.0%、などとなっています。

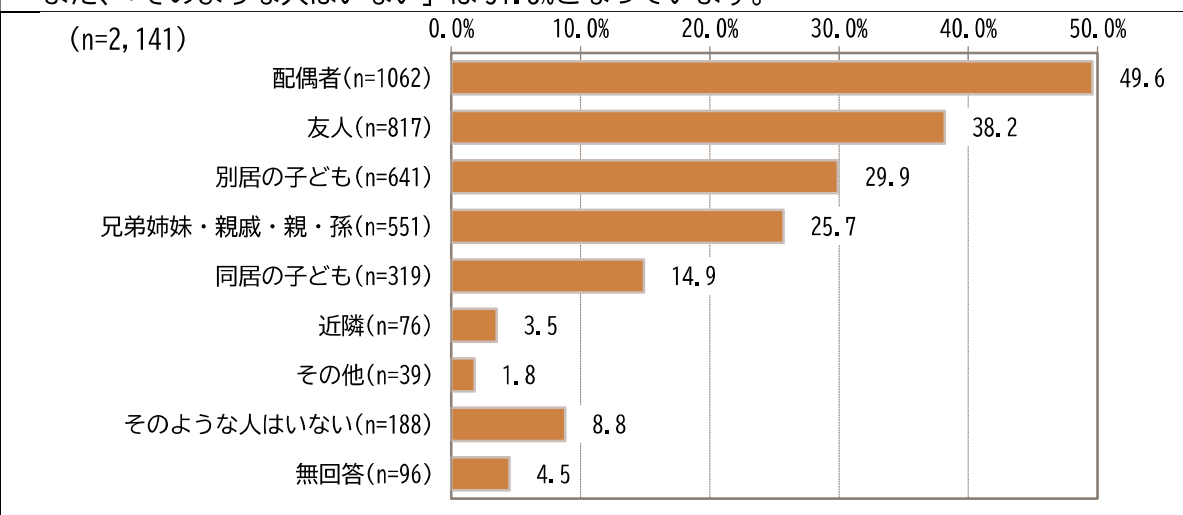


6 たすけあいについて

(1) 家族や友人・知人以外の相談相手

問 50 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、全体では「医師・歯科医師・看護師」が 25.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が 12.1%「社会福祉協議会」が 5.8%などとなっています。
また、「そのような人はいない」は 51.8%となっています。

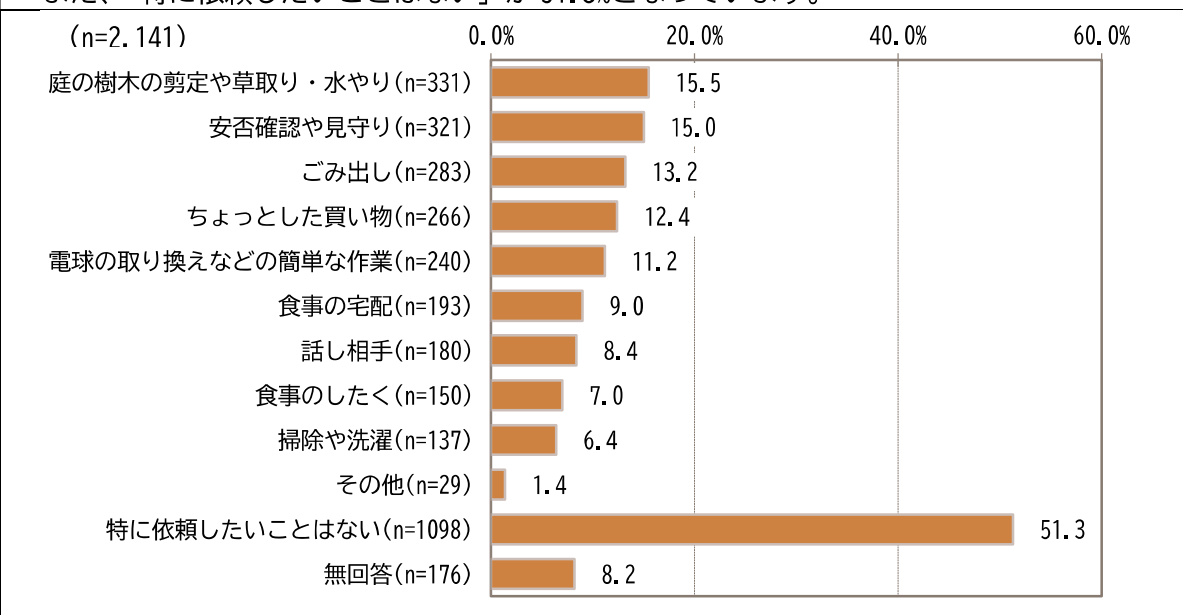


(2) 地域の方との生活の支援について

問 52 あなたの住む地域の方々が生活の支援をしてくれるとしたら、あったら良いと思うことは何ですか。(既に利用していることも含みます。)(○はいくつでも)

地域の方々がしてくれる生活の支援であつたら良いと思うことは、全体では「庭の樹木の剪定や草取り・水やり」が 15.5%で最も高く、次いで「安否確認や見守り」が 15.0%、「ごみ出し」が 13.2%、「ちょっとした買い物」が 12.4%、「電球の取り換えなどの簡単な作業」が 11.2%などとなっています。

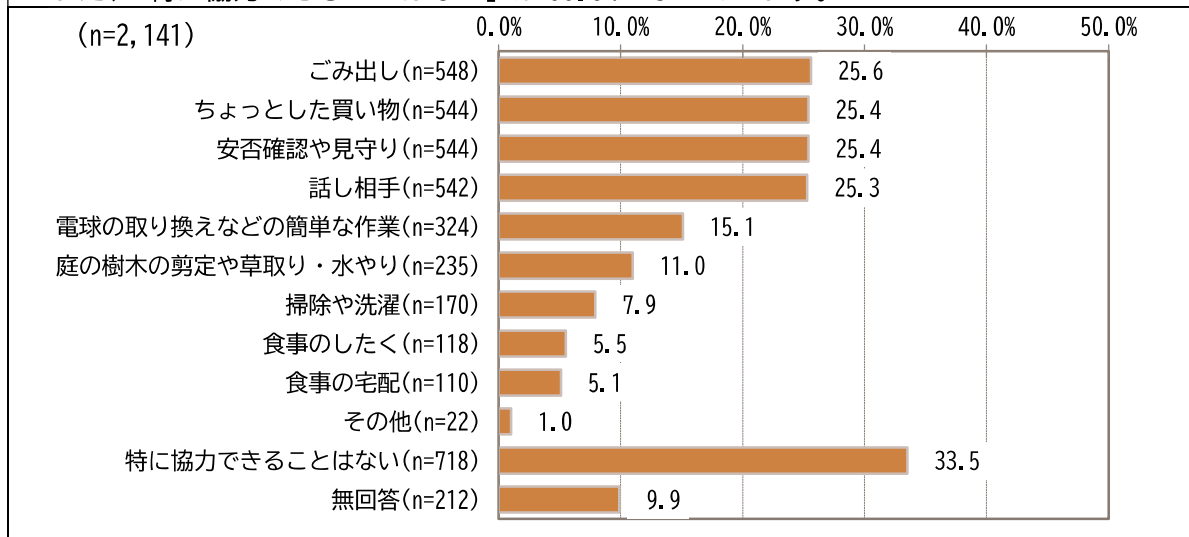
また、「特に依頼したいことはない」が 51.3%となっています。



問 53 生活の支援が必要な地域の方々に対して、あなたが協力できると思うことはありますか。
(既に協力していることも含みます。)(○はいくつでも)

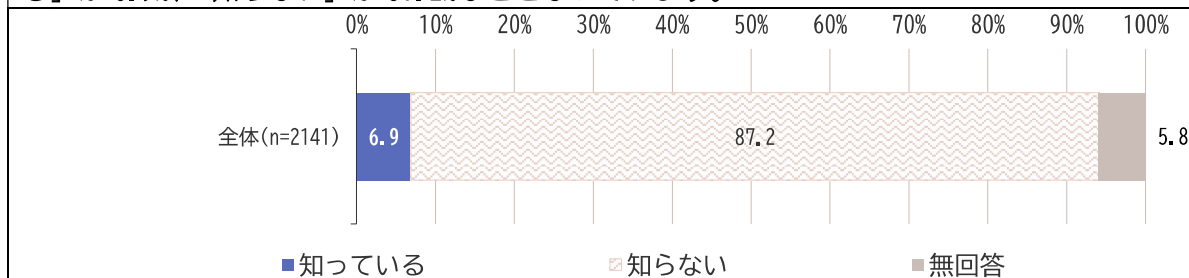
協力できることについては、全体では「ごみ出し」が 25.6%で最も高く、次いで「ちょっとした買い物」、「安否確認や見守り」がともに 25.4%、「話し相手」が 25.3%、「電球の取り換えなどの簡単な作業」が 15.1%、「庭の樹木の剪定や草取り・水やり」が 11.0%などとなっています。

また、「特に協力できることはない」が 33.5%となっています。



問 54 半田市では中学校区ごとに「地域ささえあい計画」を策定し、地域のささえあいで安心して暮らせる地域づくりを進めています。この計画や取り組みを知っていますか。(○はひとつ)

「地域ささえあい計画」の計画や取り組みを知っているかについて、全体では「知っている」が 6.9%、「知らない」が 87.2%などとなっています。



7 健康について

(1) 健康状態について

問 55 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

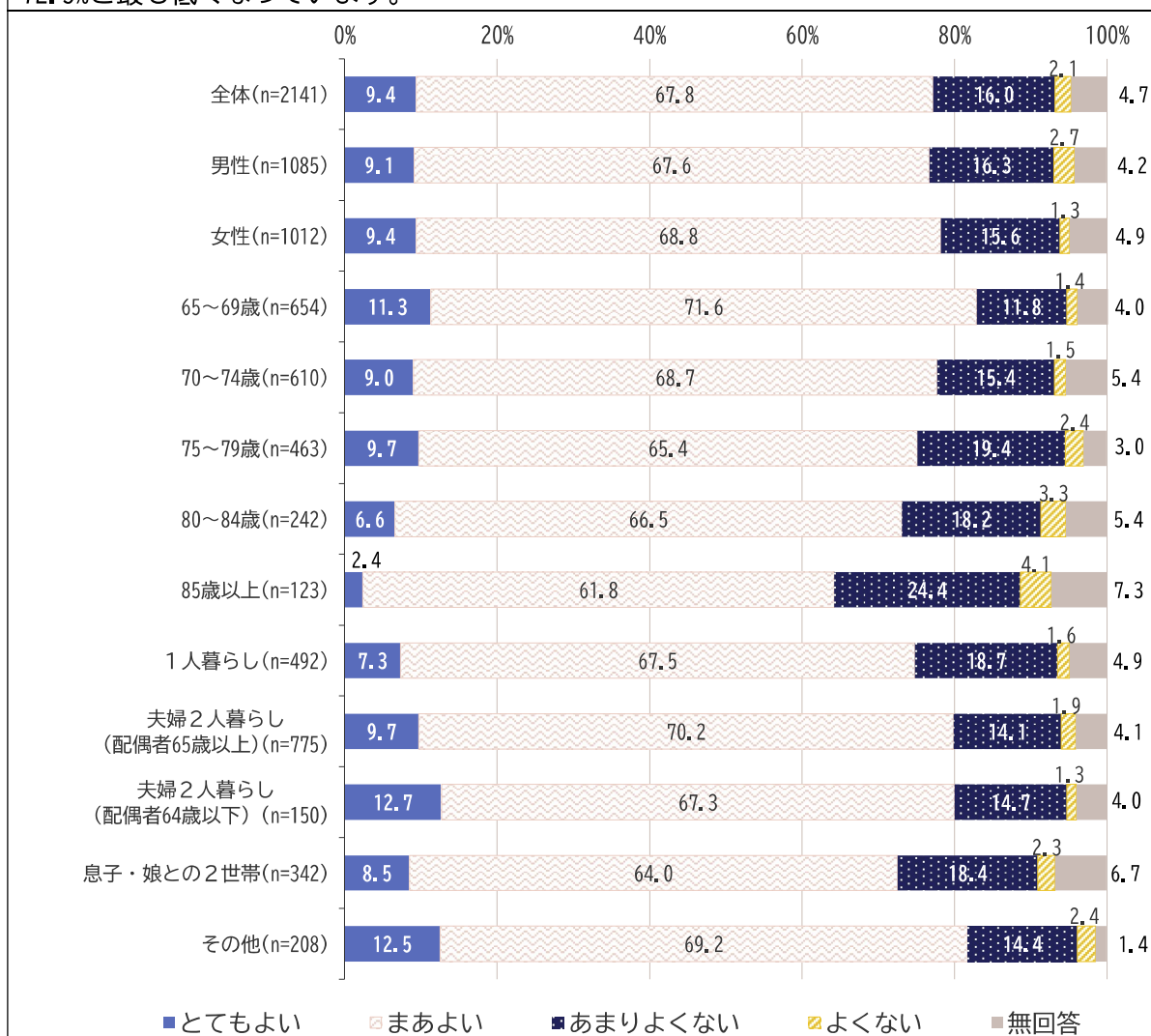
現在の健康状態は、全体では「とてもよい」(9.4%)、「まあよい」(67.8%)を合わせると、77.2%が『健康状態はよい』と回答しています。

また、「よくない」(2.1%)、「あまりよくない」(16.0%)を合わせると、18.1%が『健康状態はよくない』と回答しています。

男女別では、大きな差はみられません。

年齢別では、『健康状態はよい』と回答された割合は、年齢層が上がるにつれ低くなっています。

家族構成別では、『健康状態はよい』と回答された割合は、「息子・娘との2世帯」で72.5%と最も低くなっています。

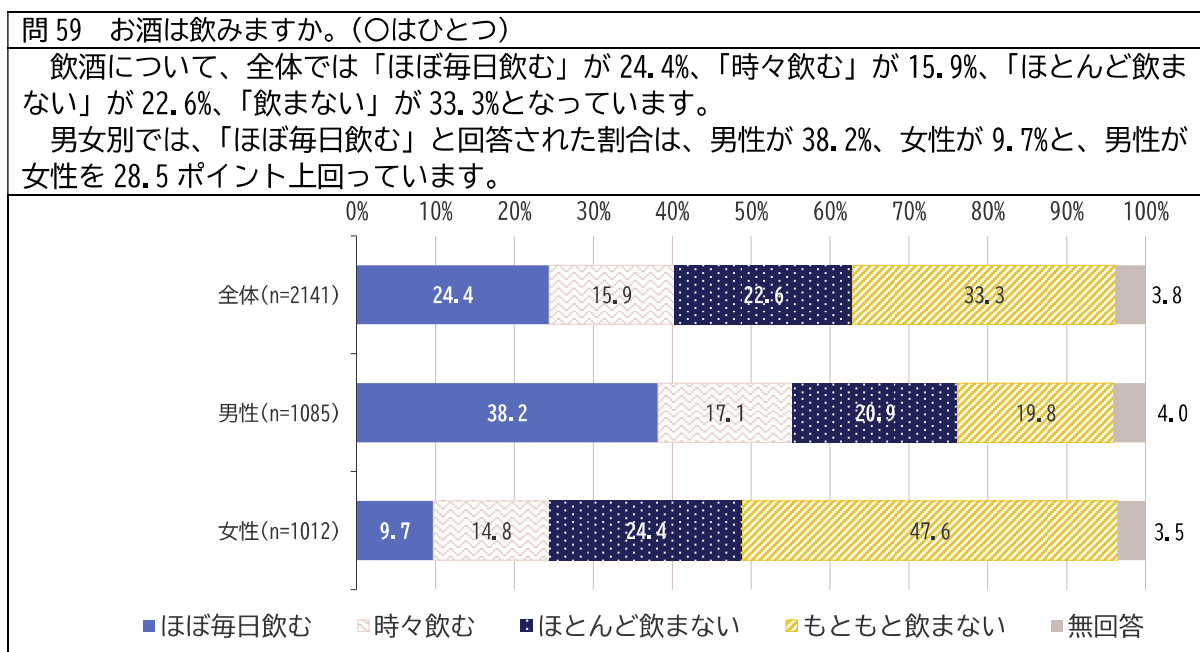


【第8期計画成果指標】

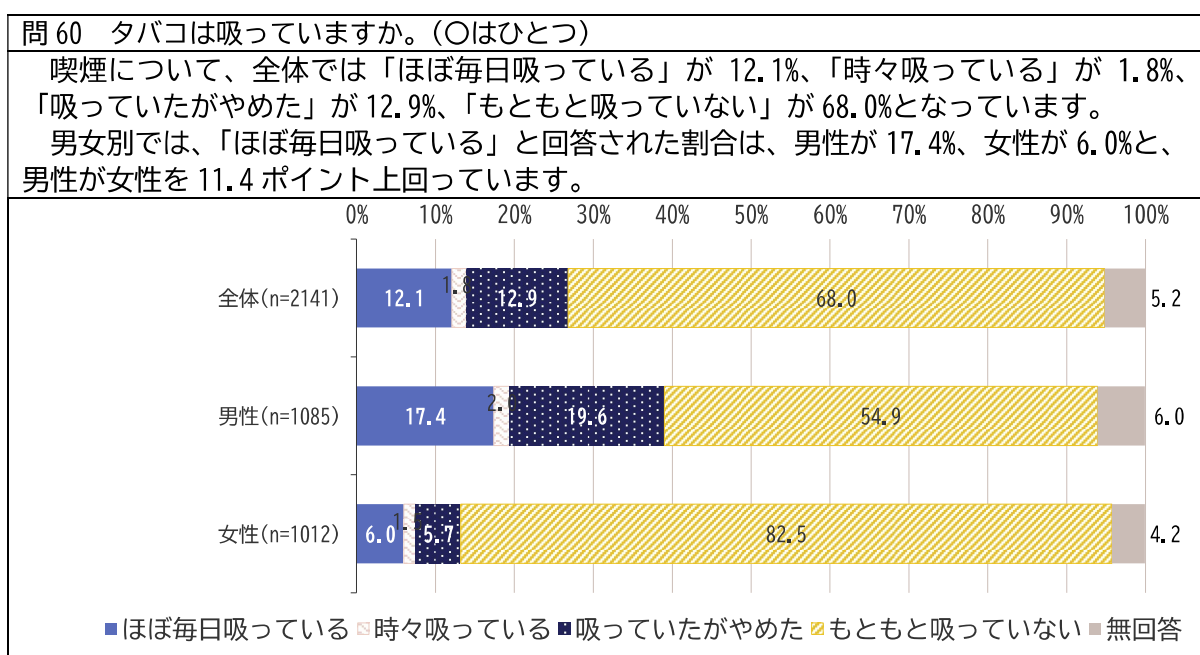
●健康状態は良いと思う高齢者の割合

令和元年度調査結果	目標値	令和4年度調査結果
84.5%	85.0%	77.2%

(2) 飲酒について



(3) 喫煙について

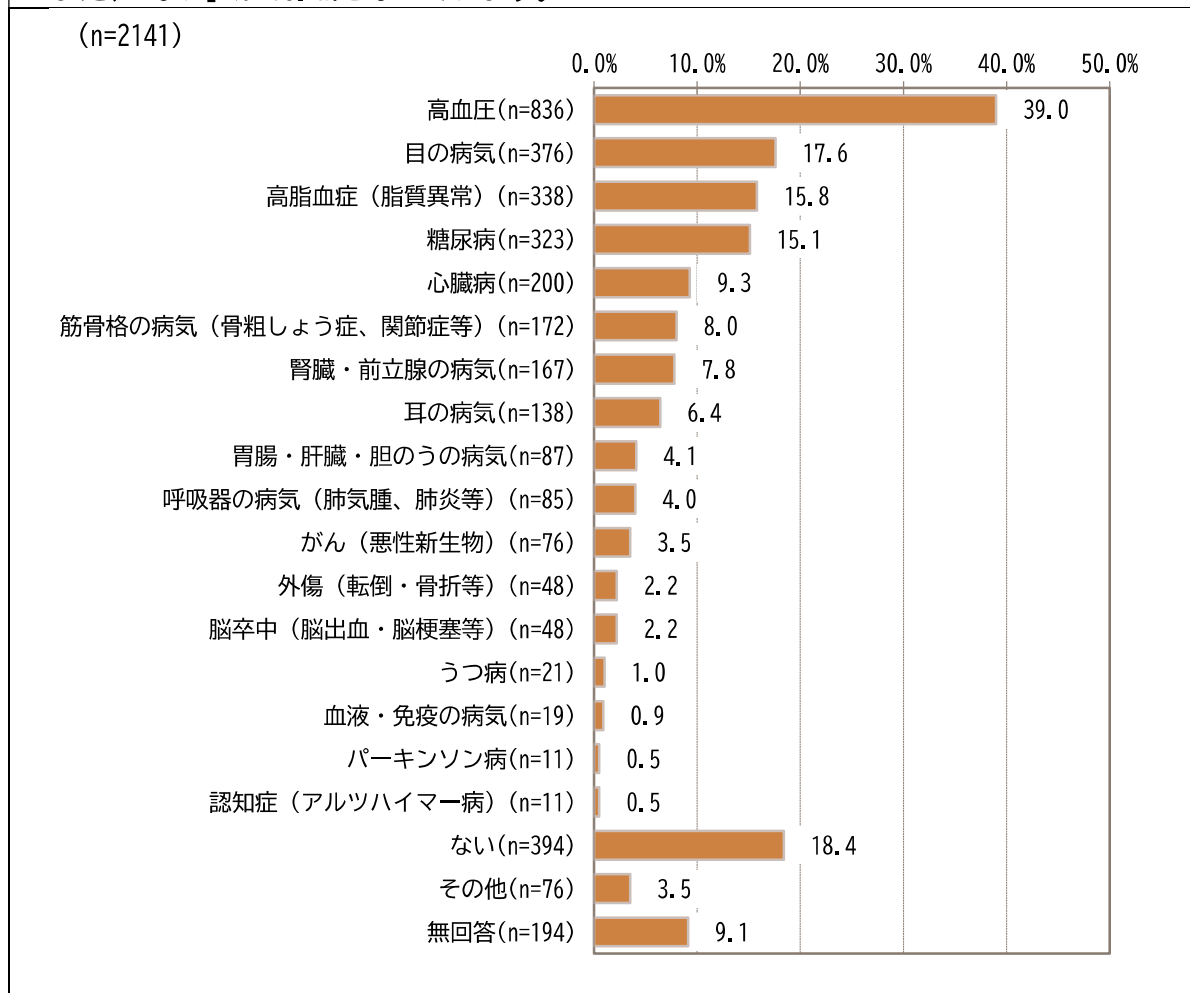


(4) 治療中、または後遺症のある病気

問 61 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

現在治療中もしくは後遺症のある病気は、全体では「高血圧」が 39.0%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.6%、「高脂血症(脂質異常)」が 15.8%、「糖尿病」が 15.1%、「心臓病」が 9.3%などとなっています。

また、「ない」が 18.4%となっています。



(7) 行政や民間による必要なサービスの提供について

問 62 あなたが日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスによって、概ね提供されていると思いますか。(○はひとつ)

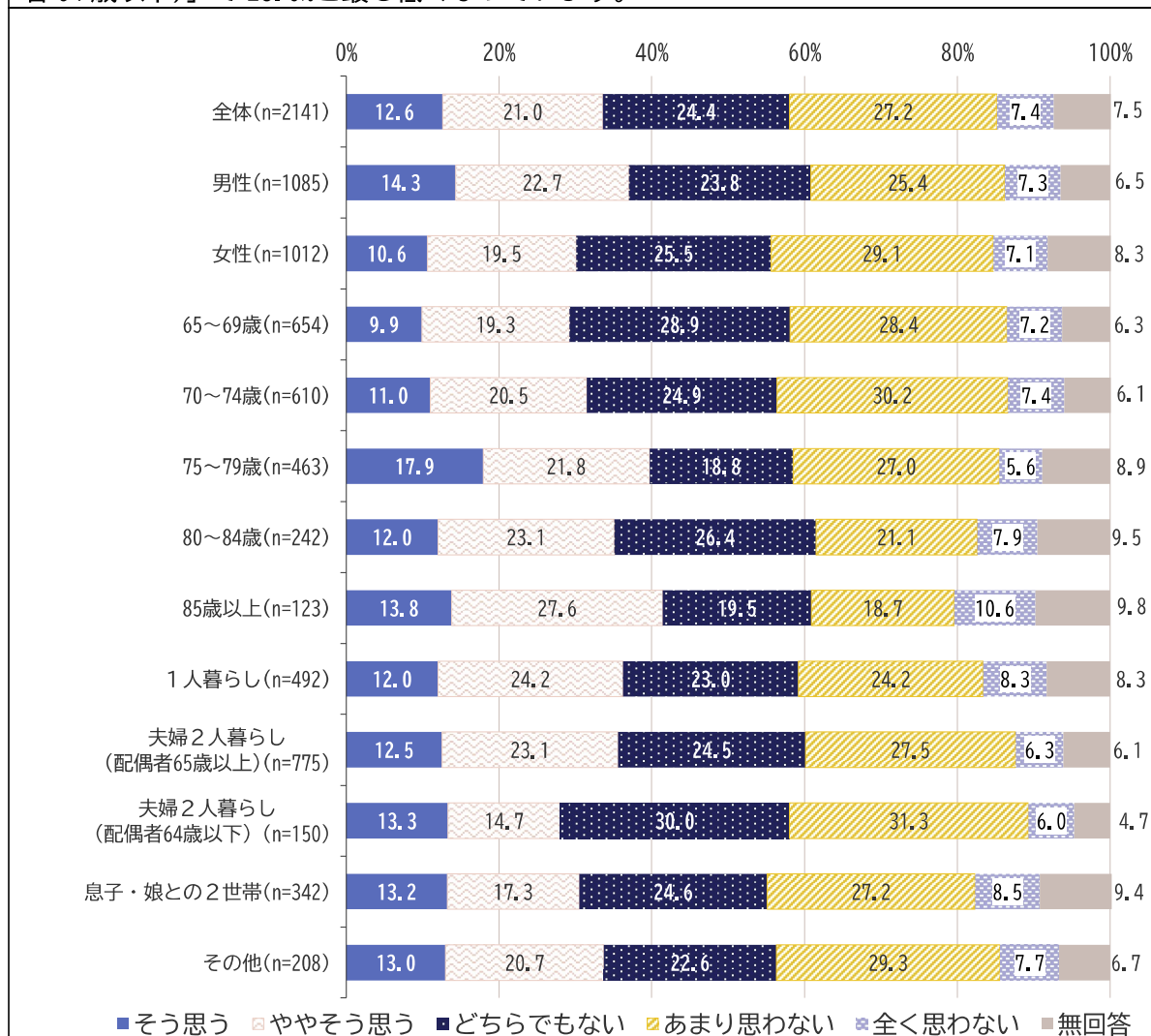
日常生活や健康のために必要な行政や民間のサービスが提供されていると思うかについては、全体では「そう思う」(12.6%)、「ややそう思う」(21.0%)を合わせると、33.6%が『提供されていると思う』と回答しています。

また、「全く思わない」(7.4%)、「あまり思わない」(27.2%)を合わせると、34.6%が『提供されていない』と回答しています。

男女別では、大きな差はみられません。

年齢別では、『提供されていると思う』と回答されている割合が、「85歳以上」で41.4%と最も高くなっています。

家族構成別では、『提供されていると思う』と回答された割合が、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」で28.0%と最も低くなっています。



【第8期計画成果指標】

●日常生活や健康に必要なことは行政や民間のサービスにて提供されていると思う高齢者の割合

令和元年度調査結果	目標値	令和4年度調査結果
33.8%	35.0%	33.6%

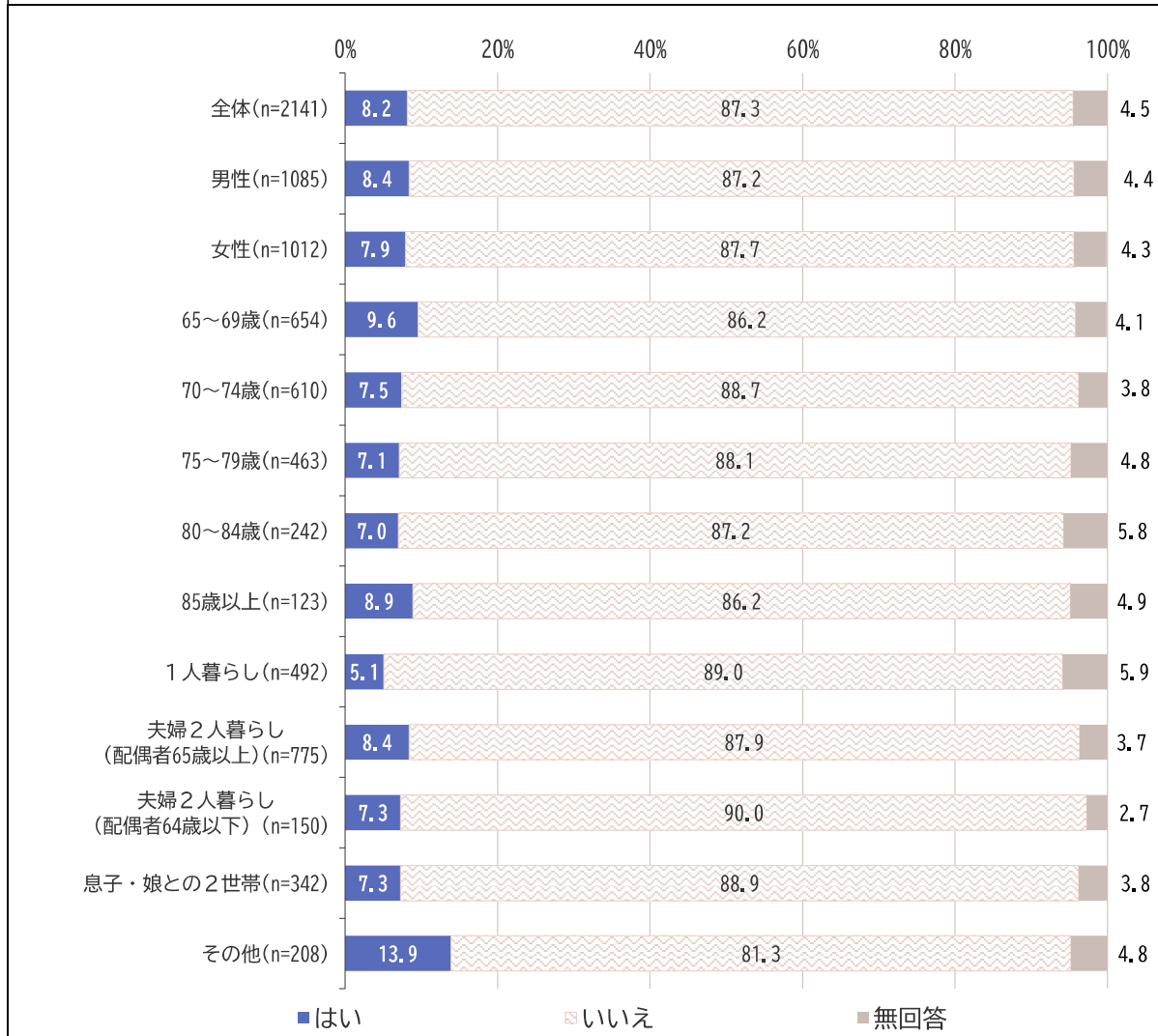
8 認知症について

(1) 相談窓口の把握について

問 63 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかについて、全体では「はい」が 8.2%、「いいえ」が 87.3%となっています。

男女別、年齢別、家族構成別では、大きな差はみられません。

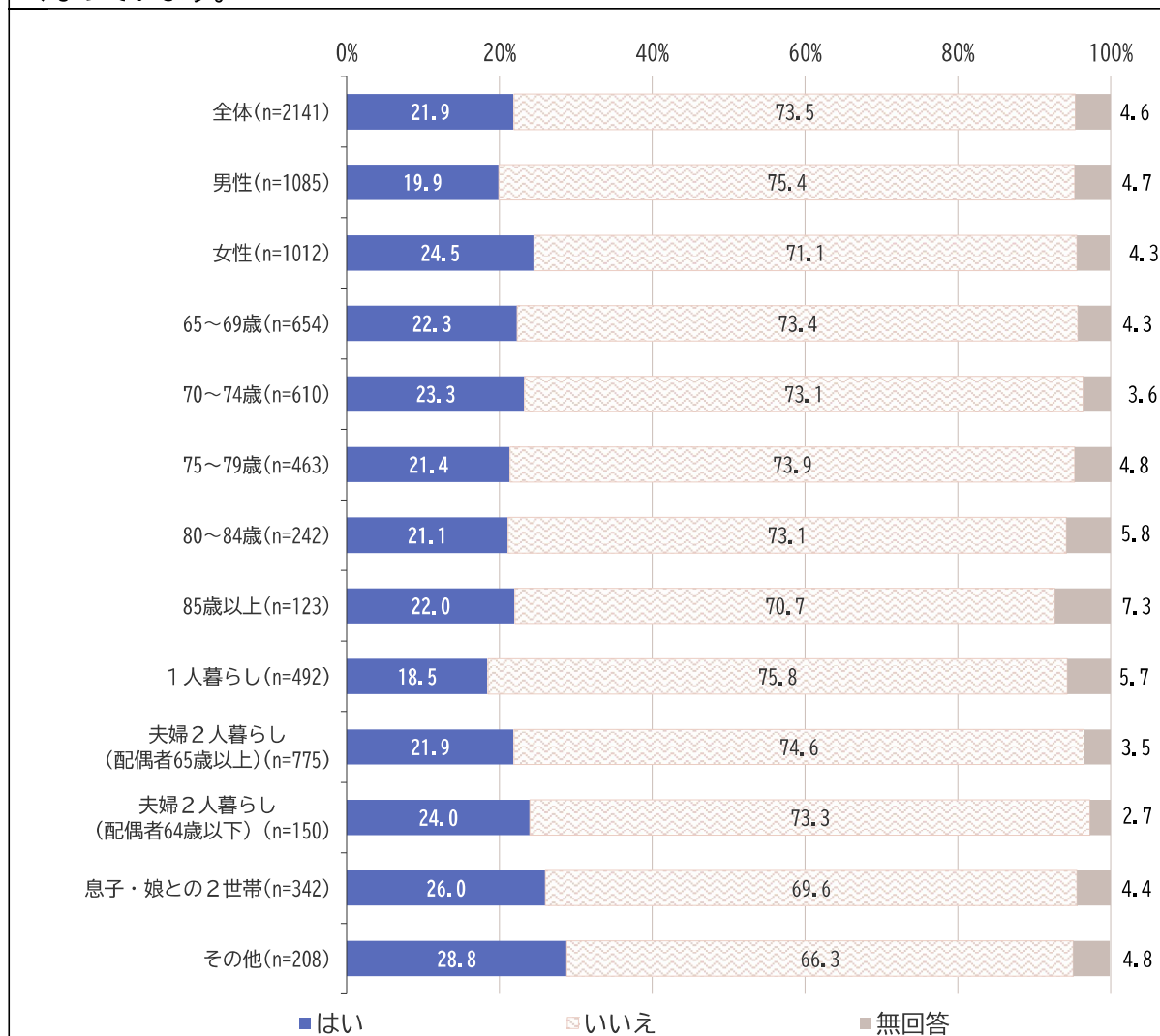


問 64 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、全体では「はい」が 21.9%、「いいえ」が 73.5%となっています。

男女別、年齢別では、大きな差はみられません。

家族構成別では、「はい」と回答された割合が、「息子・娘との2世帯」で 26.0%と最も高くなっています。



【第8期計画成果指標】

●認知症に関する相談窓口を知っている人の割合

令和元年度調査結果	目標値	令和4年度調査結果
33.7%	40.0%	21.9%

(2) 認知症の人の自宅での生活や地域活動について

問 65 自分が認知症になったら、周りのひとに助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。(〇はひとつ)

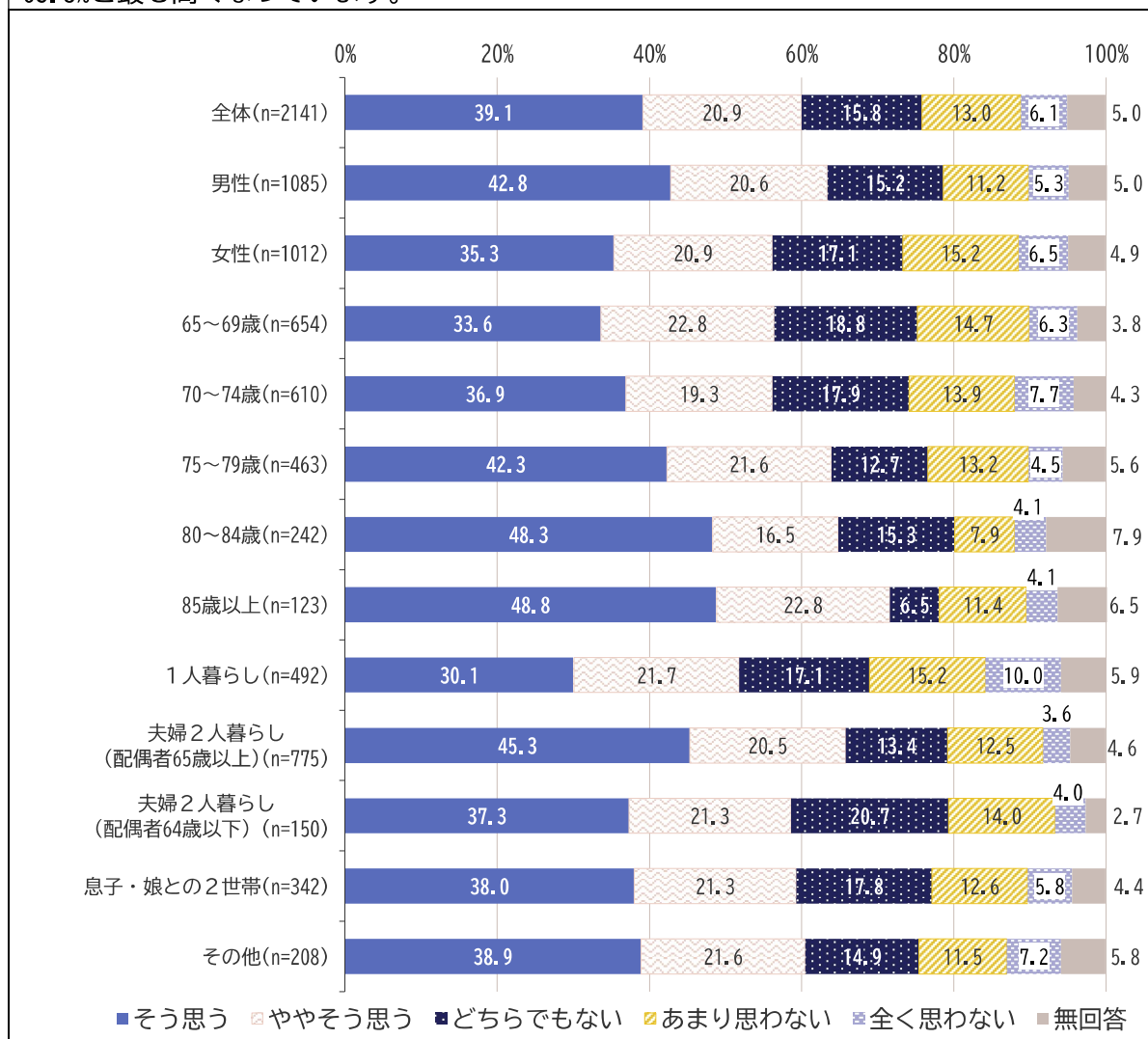
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかは、全体では「そう思う」(39.1%)、「ややそう思う」(20.9%)を合わせると、60.0%が『思う』と回答しています。

また、「全く思わない」(6.1%)、「あまり思わない」(13.0%)を合わせると、19.1%が『思わない』と回答しています。

男女別では、『思う』と回答された割合は、男性が 63.4%、女性が 56.2%と男性が女性を 7.2 ポイント上回っています。

年齢別では、『思う』と回答された割合は、年齢層が上がるにつれ高くなっています。

家族構成別では、『思う』と回答された割合が、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」で 65.8%と最も高くなっています。



問 66 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか。(○はひとつ)

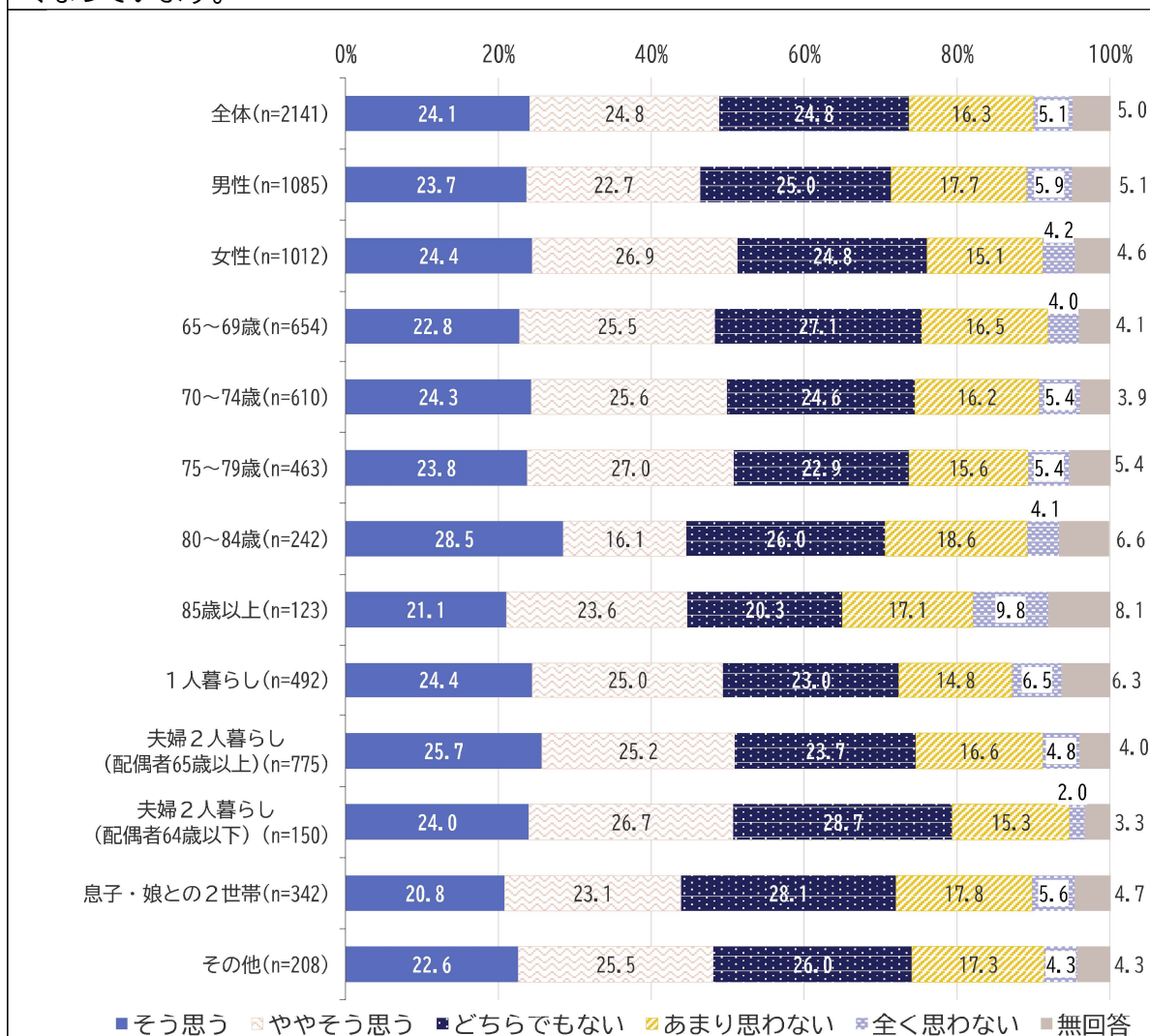
認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うかについて、全体では「そう思う」(24.1%)、「ややそう思う」(24.8%)を合わせると、48.9%が『思う』と回答しています。

また、「全く思わない」(5.1%)、「あまり思わない」(16.3%)を合わせると、21.4%が『思わない』と回答しています。

男女別では、大きな差はみられません。

年齢別では、『思う』と回答された割合が、「75～79 歳」で 50.8%と最も高くなっています。

家族構成別では、『思う』と回答された割合が、「息子・娘との2世帯」で 43.9%と最も低くなっています。



【第8期計画成果指標】

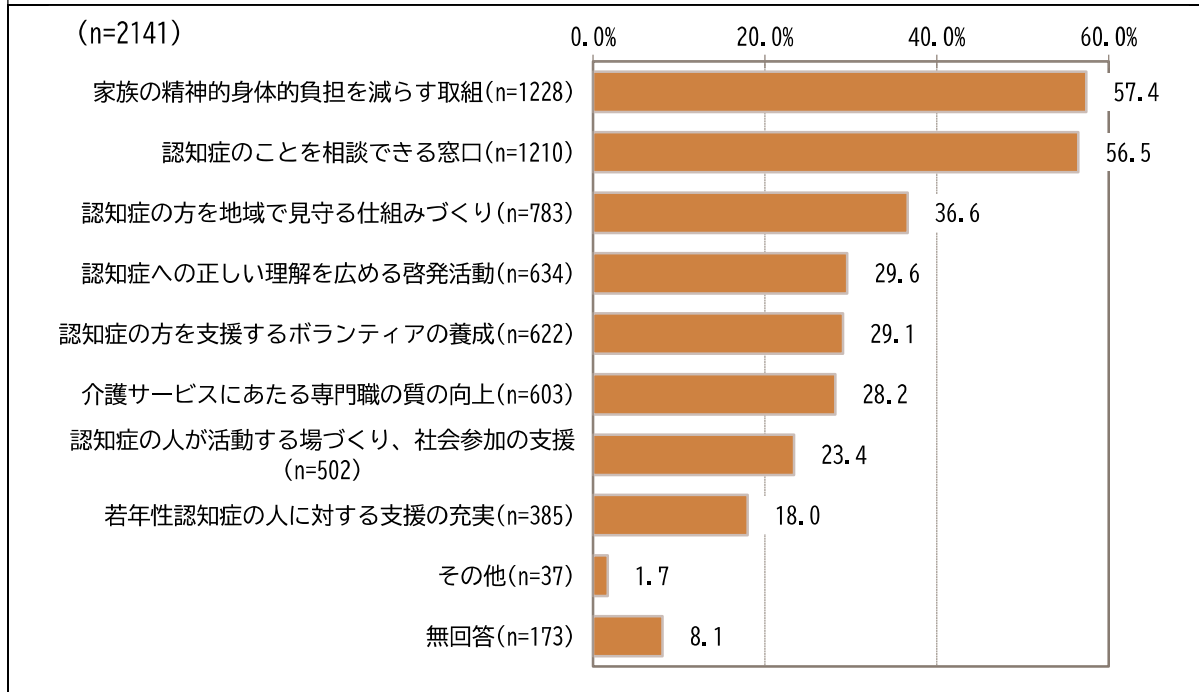
●認知症の人も地域活動に参加した方がよいと思う高齢者の割合

令和元年度調査結果	目標値	令和4年度調査結果
44.6%	49.0%	48.9%

(3) 今後の認知症施策について

問 67 今後、どのような認知症施策に重点を置くべきと思いますか。(〇はいくつでも)

重点を置くべき認知症施策については、全体では「家族の精神的身体的負担を減らす取組」が最も高く 57.4%、「認知症のことを相談できる窓口」が 56.5%、「認知症の方を地域で見守る仕組みづくり」が 36.6%などとなっています。



9 かかりつけ医や人生最期に望む医療・ケアについて

(1) かかりつけ医について

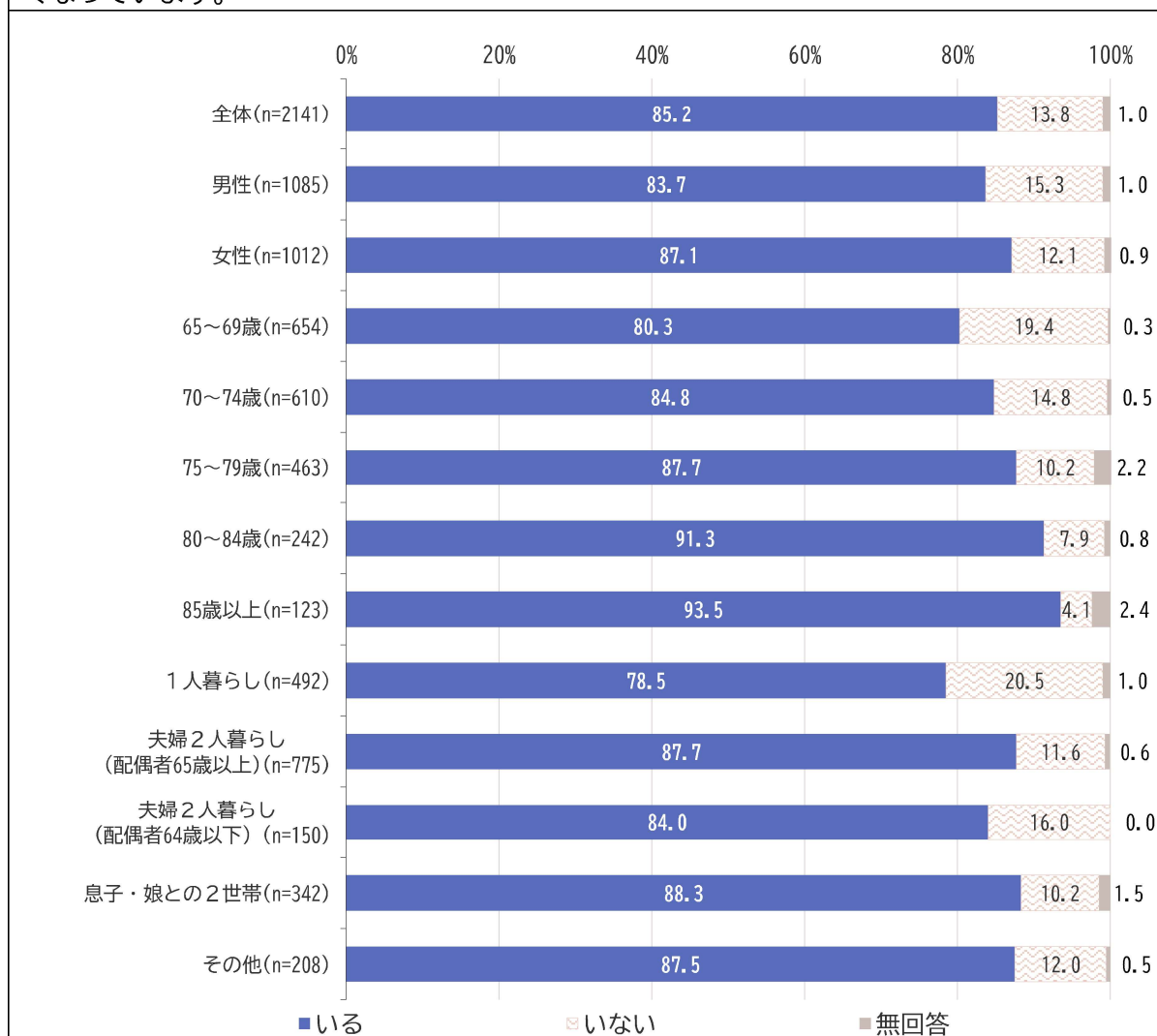
問 68 あなたには「かかりつけの医師」はいますか。(〇はいくつでも)

「かかりつけの医師」がいるかについては、全体では「いる」が 85.2%、「いない」が 13.8%となっています。

男女別では、大きな差はみられません。

年齢別では、「いる」と回答された割合は、年齢層が上がるにつれ高くなっています。

家族構成別では、「いる」と回答された割合が、「息子・娘との2世帯」で 88.3%と最も高くなっています。



【第8期計画成果指標】

●かかりつけ医のいる高齢者の割合

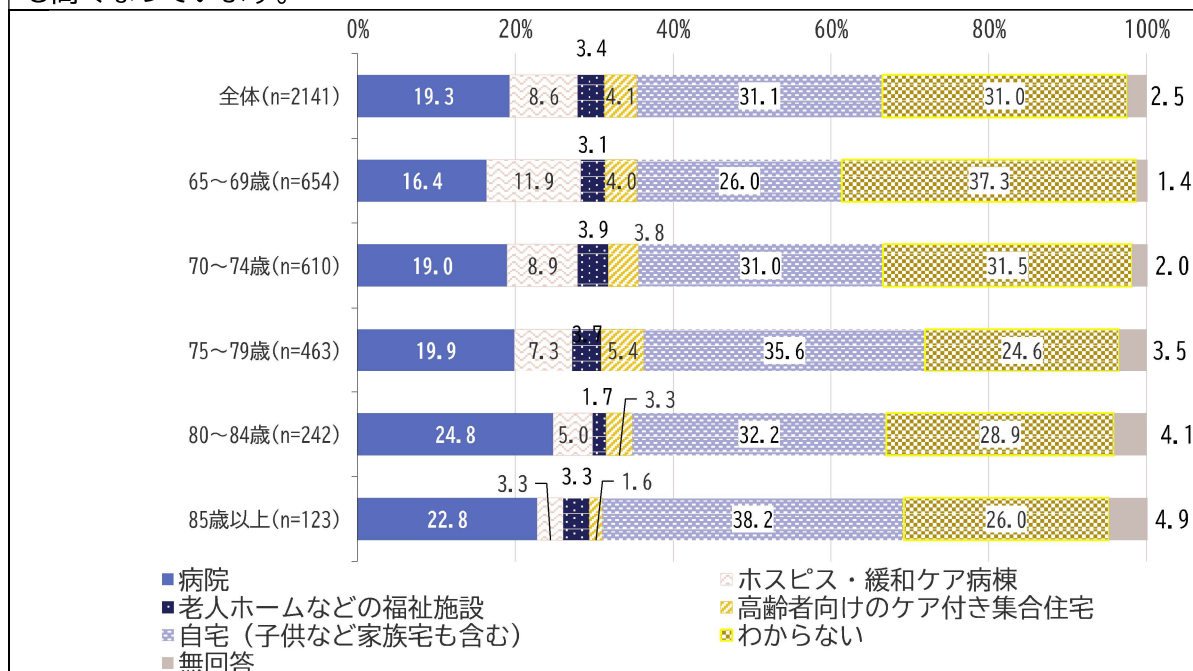
令和元年度調査結果	目標値	令和4年度調査結果
85.1%	88.0%	85.2%

(2) 最期に望む医療・ケアについて

問 70 あなたは、ご自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか。
(〇はひとつ)

最期をどこで迎えたいかについて、全体では「病院」が 19.3%、「ホスピス・緩和ケア病棟」が 8.6%、「老人ホームなどの福祉施設」が 3.4%、「高齢者向けのケア付き集合住宅」が 4.1%、「自宅（子供など家族宅を含む）」が 31.1%となっています。

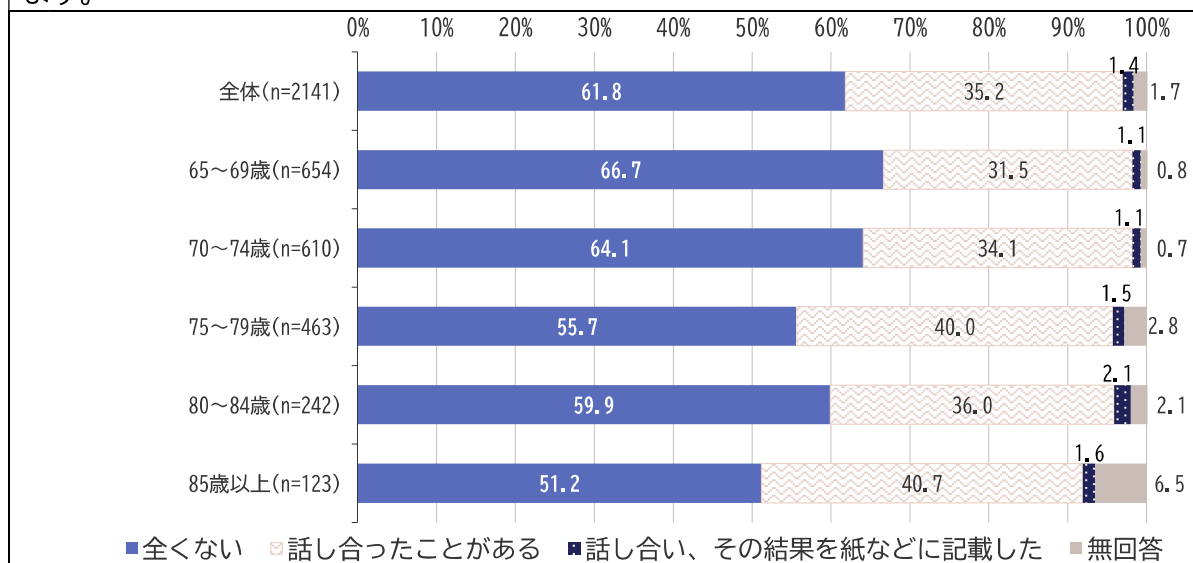
年齢別では、「自宅（子供など家族宅を含む）」と答えた割合は、「85 歳以上」で 38.2%と最も高くなっています。



問 71 上記の問 70 について、誰かと話し合いをしていますか。(〇はひとつ)

最期をどこで迎えたいか話し合いをしているかについて、全体では「全くない」が 61.8%、「話し合ったことがある」が 35.2%、「話し合い、その結果を紙などに記載した」が 1.4%となっています。

年齢別では、「全くない」と回答された割合は、「85 歳以上」で 51.2%と最も低くなっています。



10 リスク分析

国の手引きをもとに、調査票の設問を抽出し、生活機能についてのリスク分析を行いました。各設問について、一定数以上該当している回答をした場合、「リスク有り」と判定されます。各リスク分析で用いた設問は以下になります。

分析項目	設問	回答
運動機能	問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
	問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
	問7 15分位続けて歩いていますか。	3. できない
	問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
	問9 転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である
転倒	問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
閉じこもり	問10 週にどのくらい外出していますか。(○はひとつ)	1. ほとんど外出しない 2. 週1回
口腔機能	問16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
	問17 お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
	問18 口の渇きが気になりますか。	1. はい
低栄養	問15 身長と体重をお書きください。	BMI 18.5未満
	問21 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい
認知機能	問23 物忘れが多いと感じますか。	1. はい
うつ傾向	問57 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
	問58 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

また、老健式活動能力指標をもとに、調査票の設問を抽出し、高齢者の日常生活や社会参加についての分析を行いました。

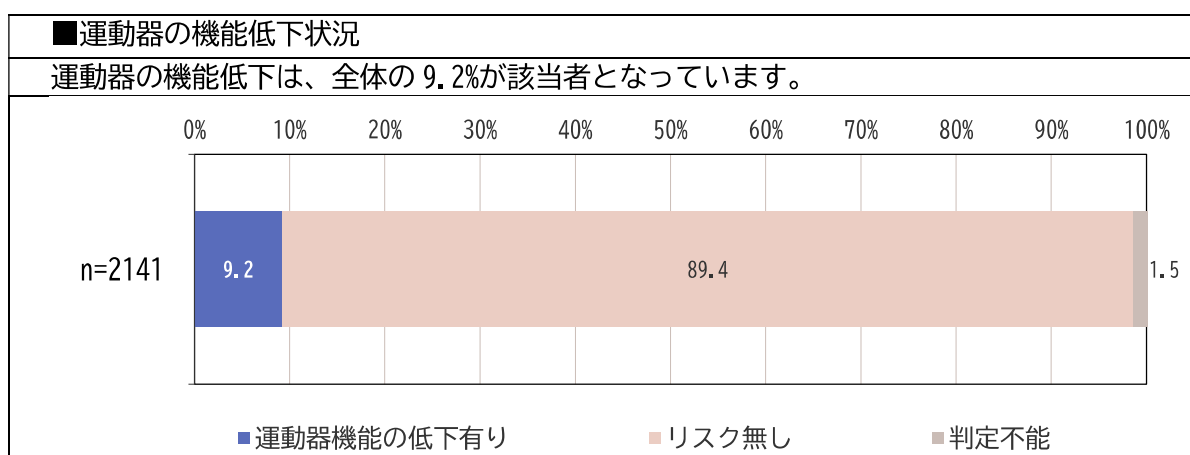
I A D Lについては、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

知的能動性と社会的役割については、評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

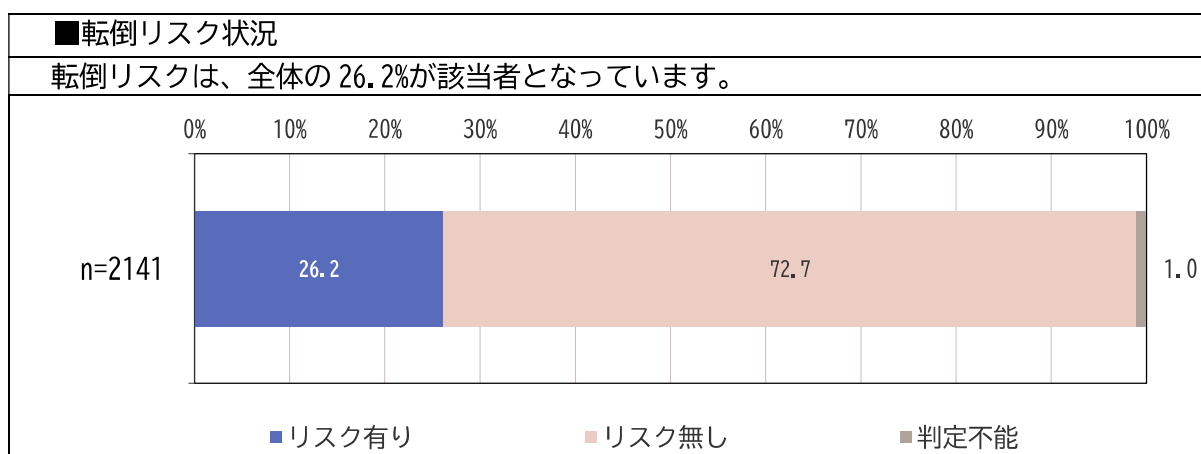
各分析で用いた設問は以下になります。

分析項目	設問	回答
I A D L	問 26 バスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可)	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
	問 27 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
	問 28 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
	問 29 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
	問 30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

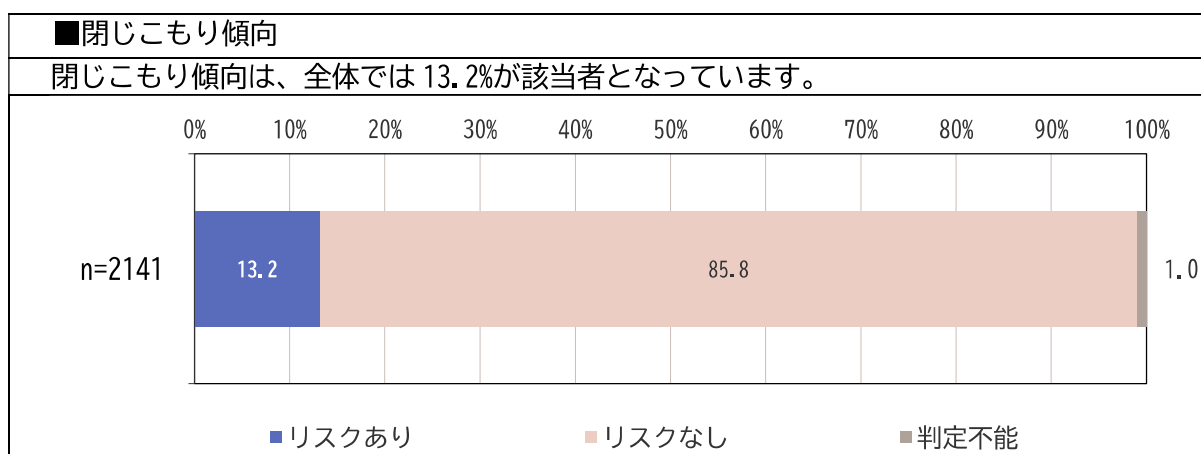
(1) 運動器の機能低下について



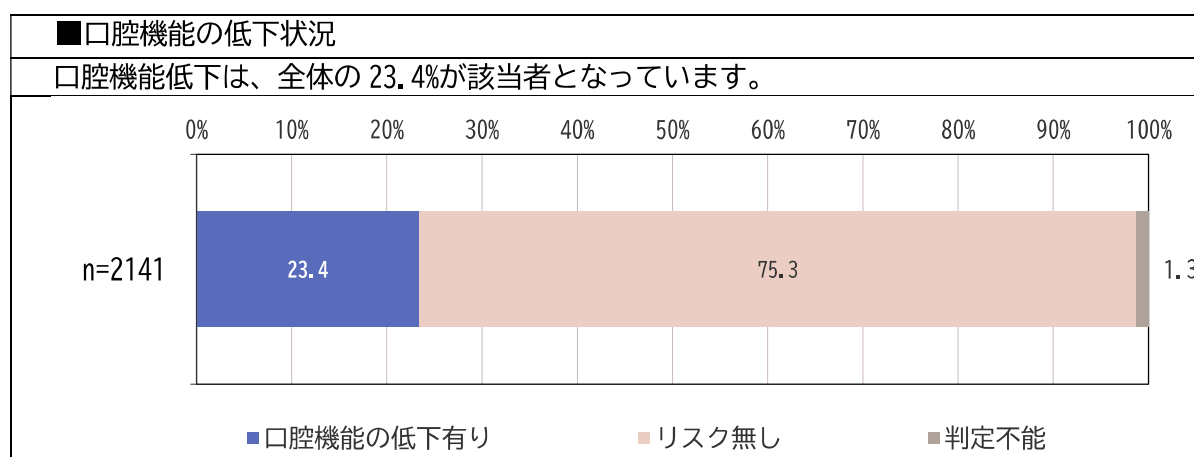
(2) 転倒リスクについて



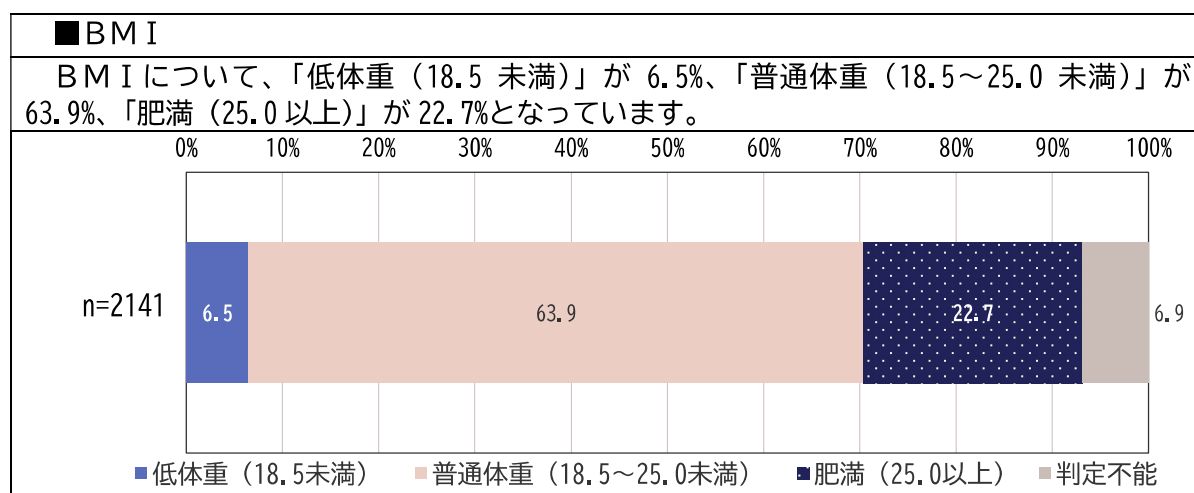
(3) 閉じこもり傾向について



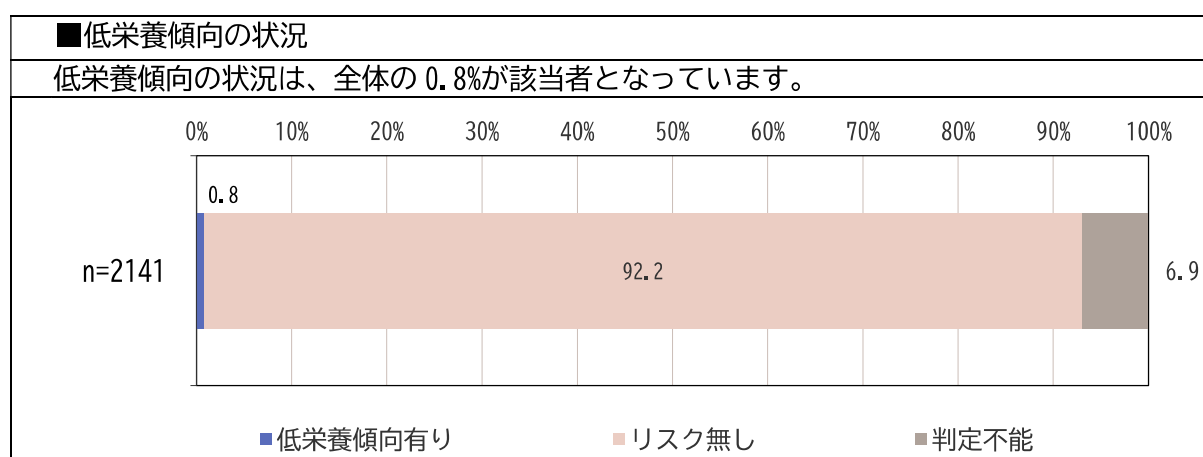
(4) 口腔機能の低下について



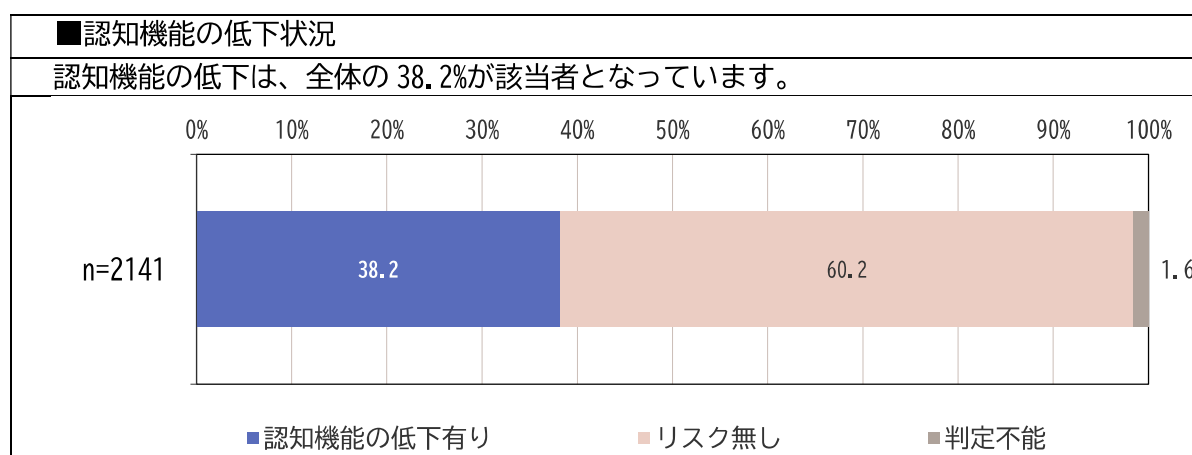
(5) BMI



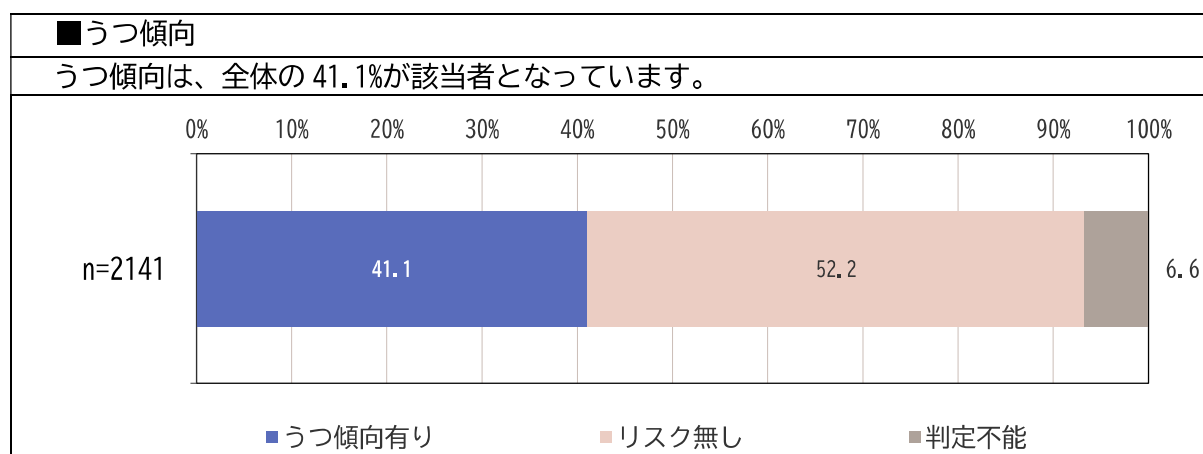
(6) 低栄養状態について



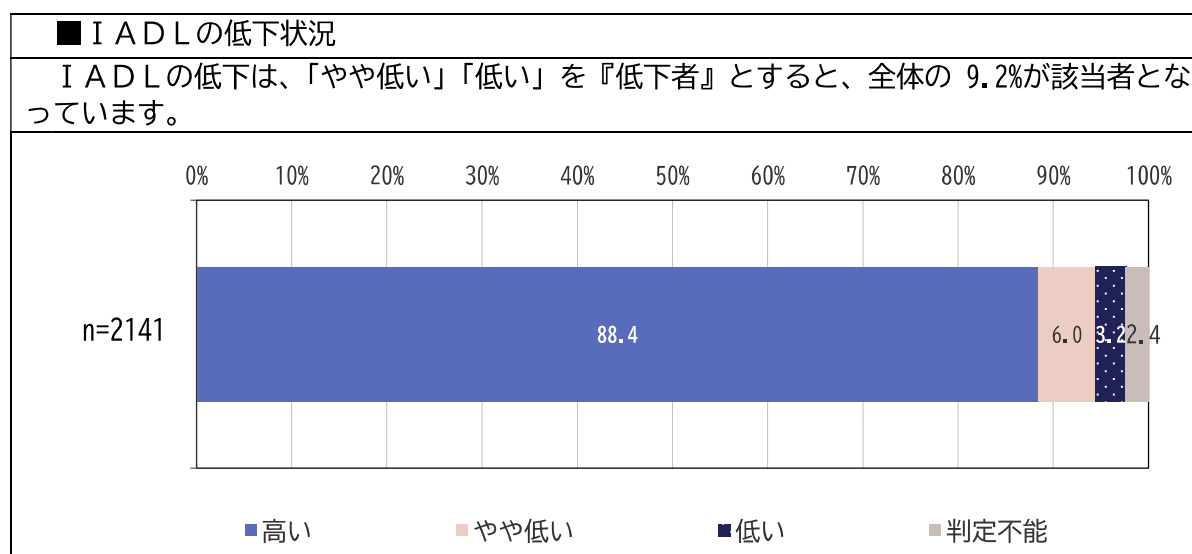
(7) 認知機能の低下について



(8) うつ傾向について



(9) IADL※(手段的日常生活動作)の低下について



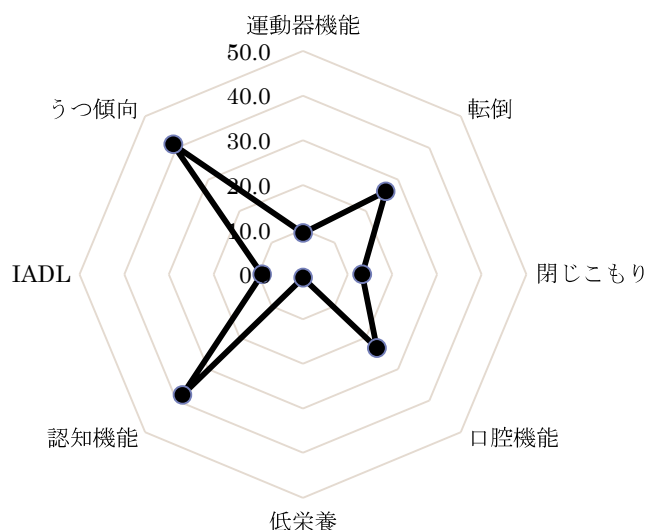
※ IADL (Instrumental Activities of Daily Living)

⇒排泄・食事・就寝等、日常生活の基本動作ADL(日常生活動作)に関連した、買い物・料理・掃除等の幅広い動作のこと。薬の管理、お金の管理、趣味活動、公共交通機関関連の利用、車の運転、電話をかけるなどの動作も含まれる。

1.1 リスク状況（リスク高齢者の割合）

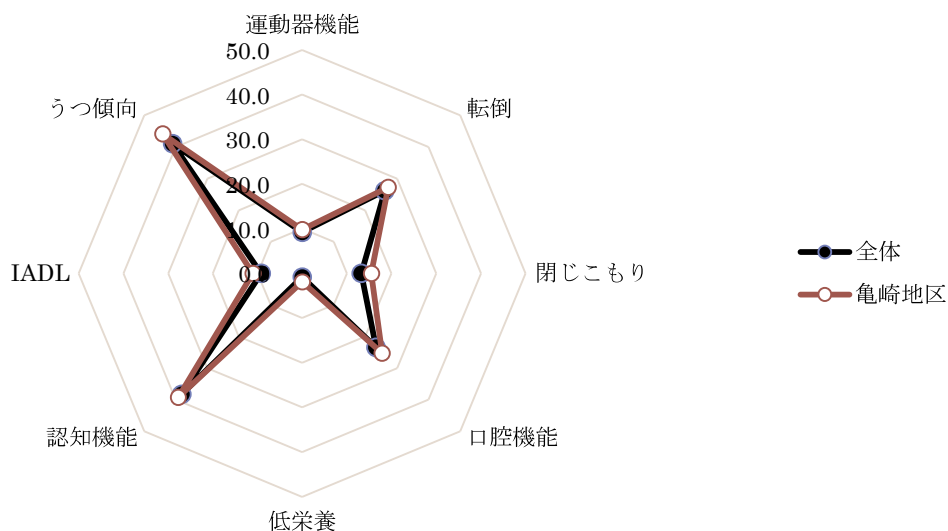
① 市全体

本市のリスク状況別リスク高齢者の割合については、以下のようになっています。
8種類のリスクのうち、「うつ」の割合が4割以上と他のリスクに比べて高くなっています。



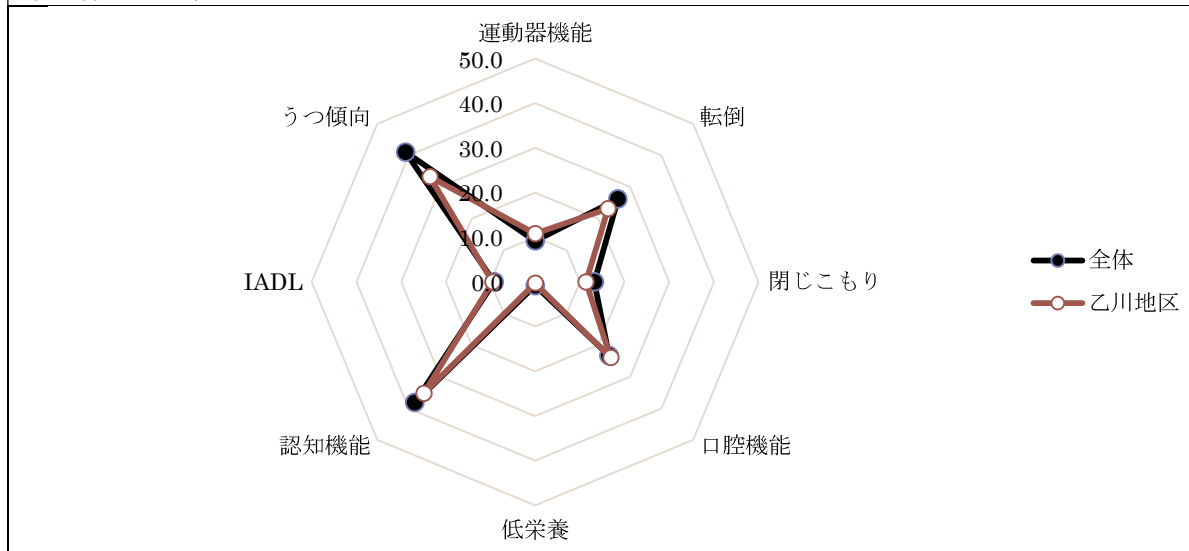
② 亀崎地区

亀崎地区のリスク状況を市全体と比べると、「運動器機能」、「転倒」、「閉じこもり」、「口腔機能」、「低栄養」、「認知機能」、「IADL」、「うつ」すべての割合で市全体よりも高くなっています。



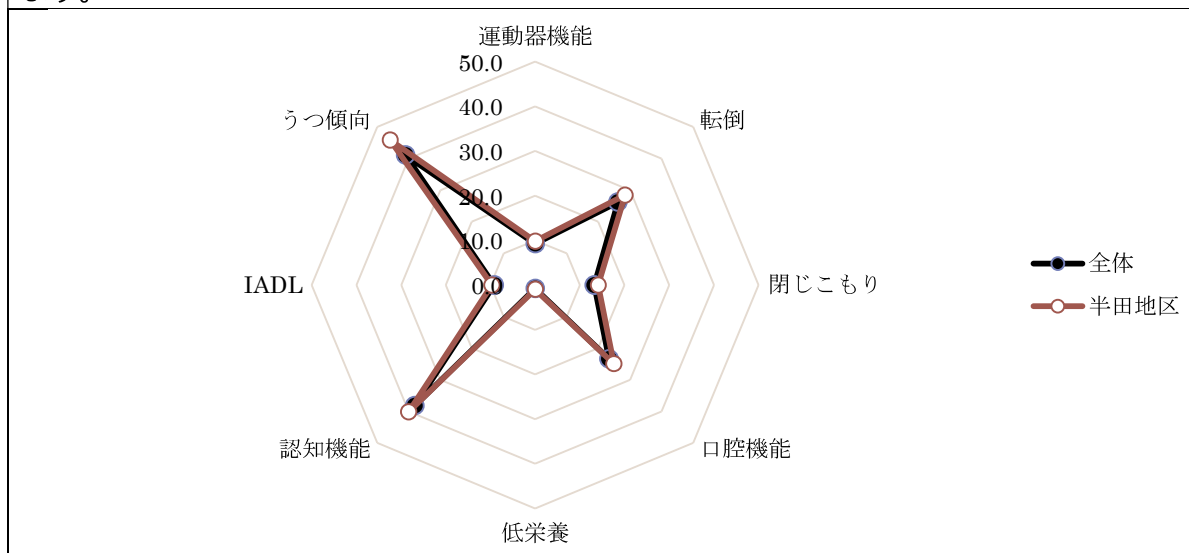
③ 乙川地区

乙川のリスク状況を市全体と比べると、「運動器機能」、「口腔機能」、「IADL」の割合は市全体よりも高くなっており、「転倒」、「閉じこもり」、「低栄養」、「認知機能」、「うつ」の割合は市全体よりも低くなっています。



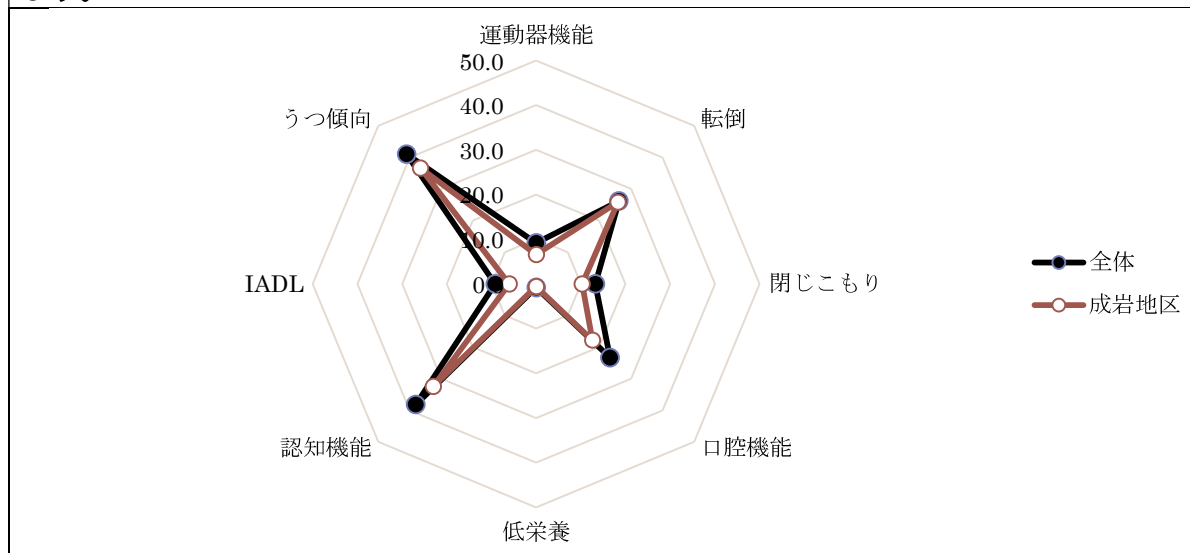
④ 半田地区

半田地区のリスク状況を市全体と比べると、「運動器機能」、「転倒」、「閉じこもり」、「口腔機能」、「低栄養」、「認知機能」、「IADL」、「うつ」すべての割合で市全体よりも高くなっています。



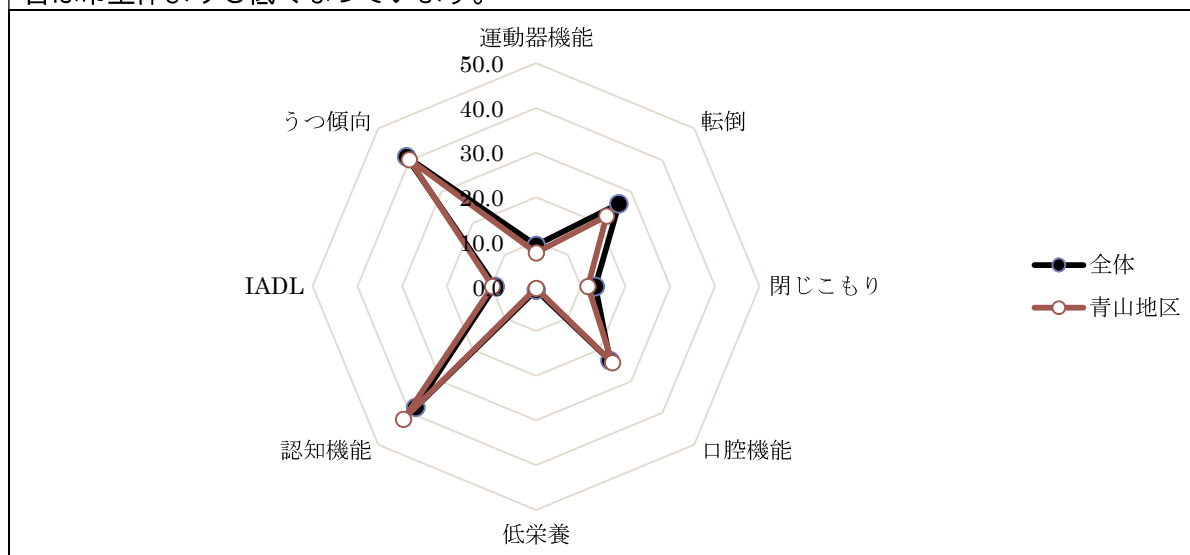
⑤ 成岩地区

成岩地区のリスク状況を市全体と比べると、「運動器機能」、「転倒」、「閉じこもり」、「口腔機能」、「低栄養」、「認知機能」、「IADL」、「うつ」すべての割合は市全体よりも低くなっています。



⑥ 青山地区

青山地区のリスク状況を市全体と比べると、「口腔機能」、「認知機能」、「IADL」の割合は市全体よりも高くなっており、「運動器機能」、「転倒」、「閉じこもり」、「低栄養」、「うつ」の割合は市全体よりも低くなっています。



半田市
高齢者福祉・介護に関する
アンケート
調査結果報告書
【概要版】

令和5年5月

発 行 : 半田市 健康課
企画・編集 : 半田市 健康課
